J

Multifunctional Presentation Kit YP-100

マルチプレゼンテーションツール

取扱説明書

● 必ず別冊の導入ガイドの注意事項をお読みになってからご使用ください。また、本機とプロジェクターの接続方法に関しても、導入ガイドを参照してください。
● 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
・ 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
・ 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
・ 本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
・ 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
・ 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。

目次

##

この取扱説明書について

本書は、YP-100（本機）の USB 端子に USB メモリー、無線アダプター（YW-2)、または書画カメラ（YC-400）を接続して行うことができる各種の操作について説明しています。

本書中の表現について

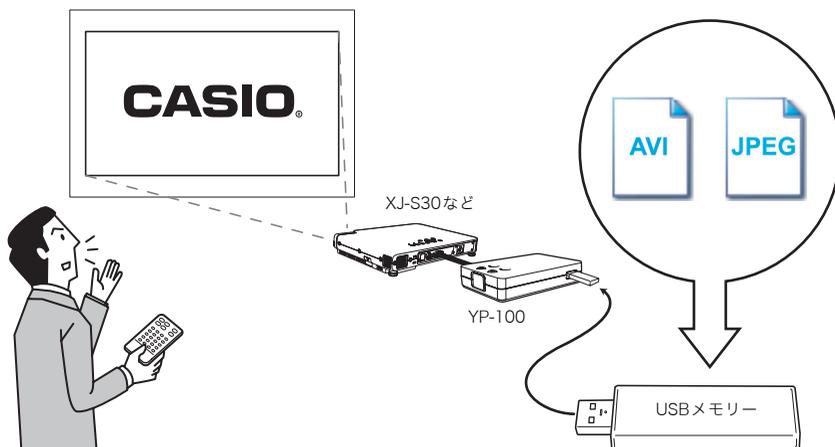
本書中では、本機の操作とパソコンの操作を同時並行して行う場面が数多くあります。このような場合には、操作する対象が本機かパソコンか、操作の結果がどこに表示されるか(本機に接続したプロジェクターから投映している画面上に表示されるか、あるいはパソコンのディスプレイ上に表示されるか)を、区別することが必要です。本書は区別のために、次のような表現を使っています。

- 本機がプロジェクターを介してスクリーンに投射する四角い範囲全体のことを、本書中では「投映画面」と呼びます。本機の操作を行う際は、投映画面に表示されるさまざまなメッセージやメニューを使います。
- パソコンに直接接続された表示デバイス(ノートパソコンのLCDを含む)のことを、本書中では「パソコンのディスプレイ」と呼びます。

本機でできること

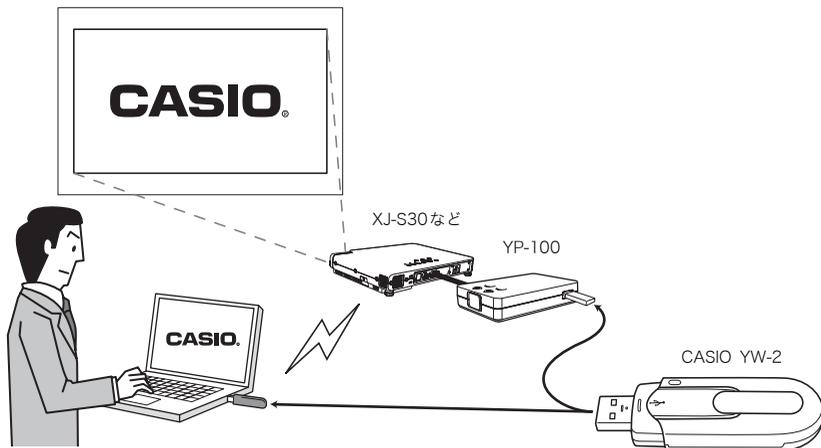
本機のUSB端子に次の外部USB機器を接続して、USB機器を入力ソースとする投映が可能です。

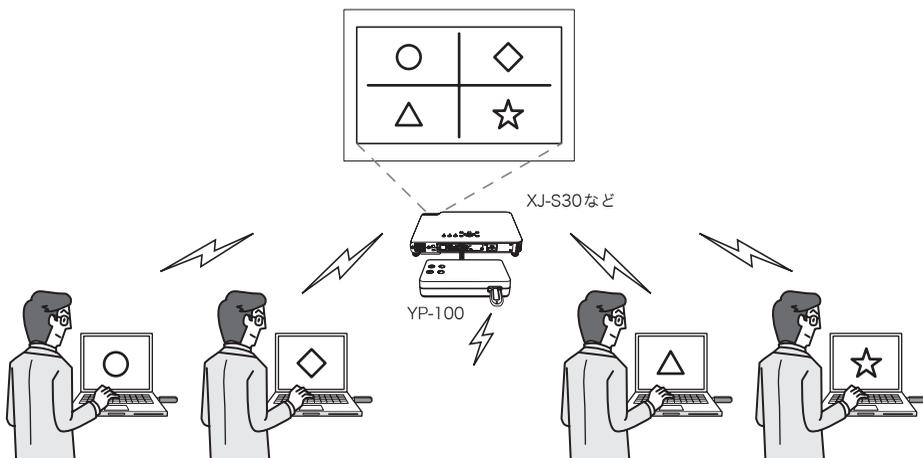
市販のUSBメモリー

USBメモリーを本機のUSB端子に接続すると、USBメモリー内に保存されている画像(jpegファイルなど)や動画(aviファイルなど)を本機に接続したプロジェクターから投映することができます。

詳しくは次の各項目を参照してください。

これについて知りたいときは：	ここを参照：
本機に接続可能なUSBメモリー	「本機と接続が可能なUSBメモリーについて」(12ページ)
本機で再生することが可能な画像ファイルや動画ファイルのフォーマット	「再生が可能なデータの種類について」(12ページ)
パソコンを使ってUSBメモリーに画像のデータを保存する操作	「プレゼンテーションを準備する(EZ-Converterを使う)」(13ページ)
USBメモリー内に保存されている画像や動画のデータを投映する操作	「プレゼンテーションを実行する(ビューアー機能を使う)」(27ページ)

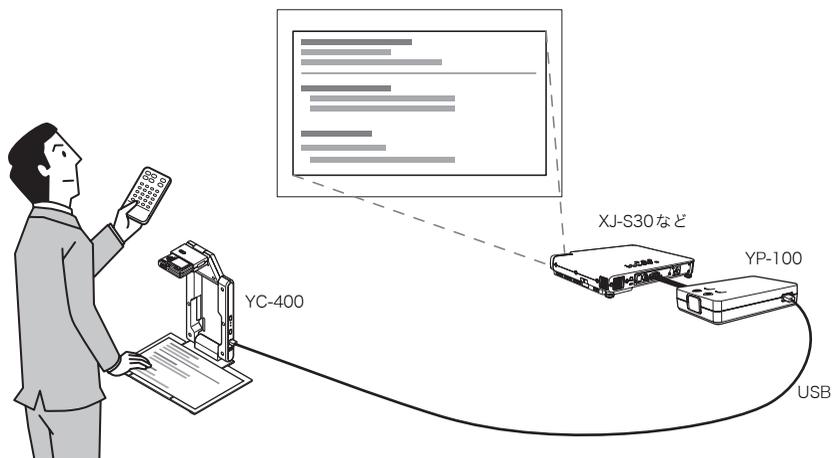
無線アダプター(弊社製YW-2)

本機とパソコンを無線LANで接続することで、パソコンのディスプレイ内容を本機に接続したプロジェクターから投映することができます。

※ 無線アダプターYW-2は、単品では販売されておりません。2本セットのパッケージ「YW-2S」をお求めください。

本機には、4台のパソコンを同時に無線LANで接続することもできます。4台のうちどのパソコンのディスプレイ内容を本機に接続したプロジェクターから投映するかは、付属のリモコンを使って選びます。

詳しくは次の各項目を参照してください。

これについて知りたいときは：	ここを参照：
本機が対応している無線LAN機器	「対応無線LAN機器について」(45ページ)
本機とパソコンを無線LANで接続するための設定操作	「無線LAN接続の基本設定」(49ページ)、 「無線LAN接続の詳細設定」(61ページ)
無線LANで本機と接続されたパソコンのディスプレイ内容を投映する操作	「無線LANを使って投映する」(84ページ)

書画カメラ（弊社製YC-400）

YC-400を本機のUSB端子に接続すると、YC-400の書画台に置いた書類を投映することができます。

詳しくは「YC-400を利用したプレゼンテーションを行う（書類を投映する）」（88ページ）を参照してください。

本機にUSB機器を接続したときの動作について

本機にUSB機器を接続したときの動作は、USB機器を接続した状態で本機の電源を入れた場合と、本機の電源がすでに入っているときにUSB機器を接続した場合で、次のようになります。

電源オン時の動作

本機のUSB端子にUSB機器が接続されている状態で本機の電源が入ると、本機は次のように動作します。

- 本機に対応したUSBメモリーが接続されていた場合は、自動的に本機の「ビューアー」(27ページ参照)が起動し、ビューアーの画面が投映されます。
- 本機専用の無線アダプターYW-2が接続されていた場合は、自動的に本機の「ワイヤレス」(47ページ参照)が起動し、ワイヤレスの画面が投映されます。
- YC-400(書画カメラ)が接続されていた場合は、電源が入った時点では本機はYC-400を認識しません。

電源オンの状態でUSB機器を接続したときの動作

- 本機に対応したUSBメモリーを接続すると、自動的に本機の「ビューアー」(27ページ参照)が起動し、ビューアーの画面が投映されます。
- 本機専用の無線アダプターYW-2を接続すると、自動的に本機の「ワイヤレス」(47ページ参照)が起動し、ワイヤレスの画面が投映されます。
- YC-400(書画カメラ)を接続した後でYC-400の電源を入れると、自動的に本機の「YCカメラ」(88ページ参照)が起動し、YCカメラの画面が投映されます。

ソフトウェアのインストール

次の操作を行うには、付属ソフトウェアをパソコンにインストールすることが必要です。

この操作を行うには：	このソフトウェアをインストールする：
PowerPointで作成したファイルを画像ファイル（JPEGファイル）に変換し、USBメモリーに保存する	EZ-Converter
パソコンのディスプレイ内容をワイヤレスで本機に送信し、本機に接続したプロジェクターから投映する	Wireless Connection

動作環境

付属ソフトウェアの動作環境は次の通りです。

OS:　Microsoft® Windows® XP/2000Professional日本語版

パソコン: 下記の条件を満たす「IBM PC/AT互換機」

- Windows® XP/2000Professionalプリインストールモデル
- PowerPoint 2000、2002、または2003いずれかのインストール（EZ-Converter使用時）
- CPU：PentiumⅢ以上
- USB端子（TypeA, USB1.1/2.0準拠）
- メモリ：256MB以上、あるいはお使いのOSが推奨するメモリ
- ハードディスク：インストール時は40MB以上、また起動時は60MB以上の空きが必要
- ディスプレイ：パソコン本体に接続可能で上記OSに対応しているフルカラーディスプレイ、解像度800×600ドット以上
- ポインティングデバイス：上記OSで使用可能なマウス、または準ずるもの
- キーボード
- CD-ROMドライブ
- 日本語環境：上記OSに準ずる（付属のソフトには日本語変換システムは付属していません）

※ その他、上記OSが推奨する環境に準拠します。

※ 機器の構成によっては、正常に動作しない場合があります。

※ Windows® NT/Me/98SE/98/95/3.1上、またMacintosh/Mac OS上では動作しません。

※ 他のOSからアップグレードされたWindows® XP/2000Professionalでの動作は保証しません。

※ Windows XP Professional x64 Editionには対応しておりません。

ソフトウェアをインストールする

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

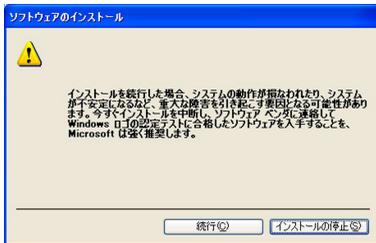
● 次のダイアログが表示されます。

2 **インストールしたいソフトウェアにチェックを付ける。**

3 **[インストール]ボタンをクリックする。**

● インストールが開始されます。

4 **表示されるダイアログで、順次[次へ]をクリックする。**

● Windows XPで次のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

● Windows 2000で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

● インストールが完了すると、次のダイアログが表示されます。

5 **[Finish]をクリックする。**

ここでは次の操作について説明します。

- 付属ソフトウェアの「EZ-Converter」を使って、USBメモリーにプレゼンテーション用のファイルを保存する操作
- プレゼンテーション用のファイルが保存されているUSBメモリーを本機に接続して、USBメモリー内の画像や動画を本機の「ビューアー」を使って再生する操作

重要

操作を行う前に、付属のCD-ROMからあらかじめソフトウェア（EZ-Converter）をパソコンにインストールしてください。詳しくは「ソフトウェアのインストール」（10ページ）を参照してください。

本機と接続が可能なUSBメモリーについて

本機はFAT/FAT32フォーマットのUSBメモリーデバイスに対応しており、次のようなUSBメモリーデバイスを接続することが可能です。

- USBメモリー
- USBマスストレージクラス（USB Mass Storage Class）に対応したデジタルカメラ
- USBマスストレージクラスに対応したハードディスクドライブ（ただしUSB端子からの電源供給で駆動するタイプを除く）

本機に接続可能な USB メモリーデバイス（動作確認済み製品）について詳しくは、弊社のホームページ（http://casio.jp/support/projector/）をご覧ください。

再生が可能なデータの種類について

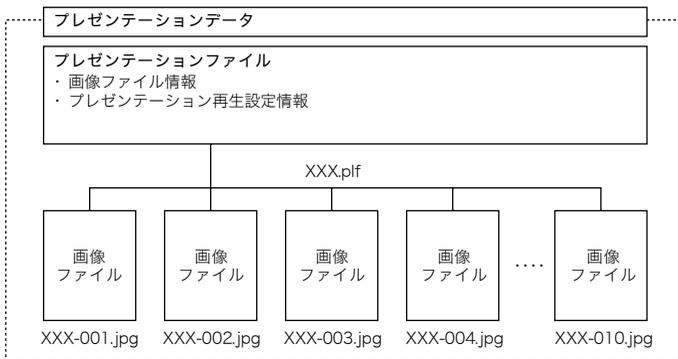
本機の「ビューアー」を使うと、USBメモリーに保存されている次の形式のデータを再生することができます。

- JPEG形式（.jpg, .jpeg, .jpe）またはBMP形式（.bmp）の画像ファイル
  ※ 約6MByteまでの容量のファイルが再生可能です。
  ※ プログレッシブ形式のJPEG画像は、サポートしていません。
- MP4形式（.mp4）の動画ファイルまたはカシオデジタルカメラEXILIMシリーズで撮影したAVI形式（.avi）の動画ファイル
  本機で再生可能な動画ファイル形式および再生仕様について詳しくは、弊社のホームページ（http://casio.jp/support/projector/）をご覧ください。

プレゼンテーションを準備する(EZ-Converterを使う)

「EZ-Converter」はWindowsパソコン上で動作するソフトウェアです。EZ-Converterを使うと、Microsoft PowerPoint で作成したファイル(.pptファイル)を、本機の「ビューアー」の機能を使って再生することが可能なプレゼンテーションデータ(下記参照)に変換することができます。変換後のプレゼンテーションデータをUSBメモリーに保存し、そのUSBメモリーを本機に接続すれば、変換元のpptファイルと同じようなプレゼンテーションを行うことができます。

プレゼンテーションデータについて

EZ-Converterが作成するプレゼンテーションデータは、プレゼンテーションファイル(.plfファイル)と画像ファイル(.jpgファイル)によって構成されます。プレゼンテーションファイル(.plf)は、本機の「ビューアー」でUSBメモリー上の画像ファイルを表示する際の順番や再生設定を管理するためのファイルです。例えばEZ-Converterで10ページ分のデータを含むPowerPointファイルを変換すると、10個の画像ファイル(.jpgファイル)と、画像ファイルとリンクした1つのプレゼンテーションファイル(.plf)が作成されます。このプレゼンテーションファイルには、10個の画像ファイルの表示順情報や再生設定が記録されています。

EZ-Converterの主な機能

PowerPointファイルの変換機能

- 最大500ページまでのPowerPointファイルを変換可能
- Windows版PowerPoint 2000/2002/2003で作成したファイルに対応
- 変換後のプレゼンテーションデータをEZ-Converter上で編集可能

重要

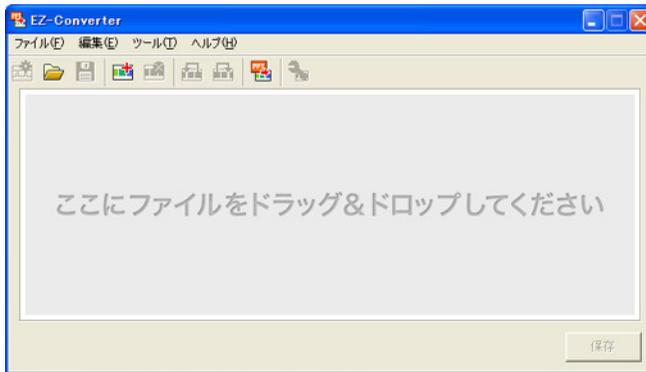
PowerPointファイル上のアニメーションには対応していません。また、画面切り替え効果はプレゼンテーションファイルで設定した効果が使用されます。

画像ファイルのプレゼンテーションファイルへの追加機能

最大500個までの画像ファイル(.jpgまたは.bmp)を追加可能

EZ-Converterの起動と終了

EZ-Converterを起動するには

スタートメニューから[すべてのプログラム] - [CASIO] - [EZ-Converter]を選択します。次のようなEZ-Converterウィンドウが表示されます。

このとき表示されるのは、プレゼンテーションデータが何も開いていない「空の」状態のウィンドウです。

ご注意

EZ-Converterを起動するには、お使いのパソコンにPowerPoint 2000、2002、または2003のいずれかがインストールされていることが必要です。

EZ-Converterを終了するには

[ファイル] - [終了]を選択します。

プレゼンテーションデータを新規作成する

EZ-Converterを使ってプレゼンテーションデータを新規作成する方法には、次の2つがあります。

PowerPointファイルをプレゼンテーションデータに変換する(下記参照)

1つのPowerPointファイルを、元のファイルと同じ内容のプレゼンテーションを行うことができるプレゼンテーションデータに一括して変換します。この操作を行うには、あらかじめ変換元のPowerPointファイルをご用意ください。

画像ファイルをプレゼンテーションデータに登録する(17ページ参照)

複数の画像ファイル(.jpgまたは.bmp)を一括してプレゼンテーションデータに登録し、新規のプレゼンテーションデータを作成することができます。この操作を行うには、あらかじめプレゼンテーションデータに変換したい画像ファイルをご用意ください。

PowerPointファイルをプレゼンテーションデータに変換するには

1 **EZ-Converterを起動する。**

- 空のEZ-Converterウィンドウが表示されます。
- すでにEZ-Converterが起動しており、前回作成したプレゼンテーションデータが表示されている場合は、ボタンを押して表示中のデータをEZ-Converterウィンドウからクリアします。

2 **必要に応じて、プレゼンテーションのオプション設定を行う。**

- 詳しくは「オプション設定を行う」(18ページ)を参照してください。

3 **ボタンをクリックするか、[ファイル] - [PowerPointファイルの変換]を選ぶ。**

- 「PowerPointファイルを選択」ダイアログが表示されます。

4 変換したいPowerPointファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックする。

- 選択したPowerPointファイルの変換が開始され、「PowerPointファイルを変換中」ダイアログが表示されます。

- 変換が完了すると、EZ-Converterのウィンドウに変換後の画像ファイル一覧が縮小画像で表示されます。

5 必要に応じて、画像の追加や削除、位置の移動などの編集操作を行う。

- 詳しくは「プレゼンテーションデータを編集する」(19ページ)を参照してください。

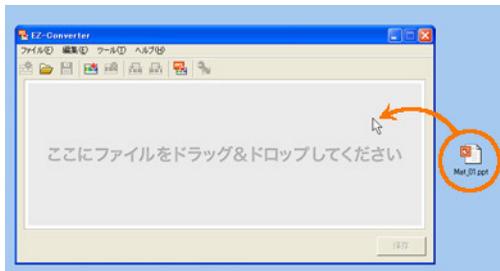
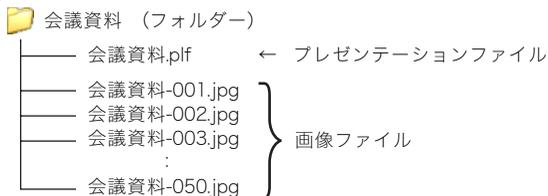
6 プレゼンテーションの再生設定を行う。

- 詳しくは「プレゼンテーションデータの再生設定を行う」(20ページ)を参照してください。

7 プレゼンテーションデータを保存するには、[保存]ボタンをクリックする。

- 詳しくは「プレゼンテーションデータを保存する」(23ページ)を参照してください。

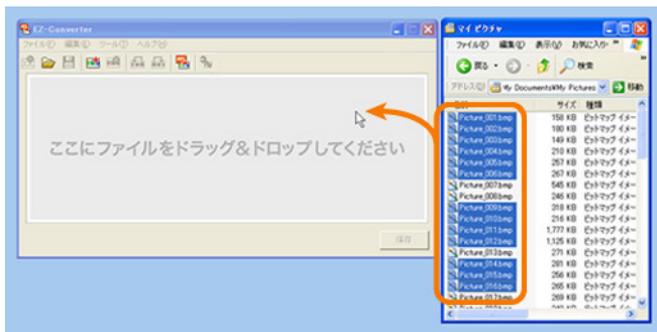
メモ

- 手順2、3の操作の代わりに、変換したいPowerPointファイル1つを、EZ-Converterのウィンドウ内にドラッグ＆ドロップする操作も可能です。

- PowerPointファイルからプレゼンテーションデータへの変換を行うと、次のようなフォルダーと画像ファイル、プレゼンテーションファイルが作成されます。
  例：PowerPointファイル「会議資料.ppt」（全50ページ）を変換した場合

画像ファイルをプレゼンテーションデータに登録するには

1 **EZ-Converterを起動する。**

- 空のEZ-Converterウィンドウが表示されます。
- すでにEZ-Converterが起動しており、前回作成したプレゼンテーションデータが表示されている場合は、ボタンを押して表示中のデータをEZ-Converterウィンドウからクリアします。

2 **プレゼンテーションデータに登録したいすべての画像ファイルをWindowsのエクスプローラー上で選択する。**

3 選択した画像ファイルを、EZ-Converterのウィンドウにドラッグ＆ドロップする。

- 選択した画像ファイルがプレゼンテーションデータに登録され、EZ-Converterのウィンドウに縮小表示されます。

4 必要に応じて、画像の追加や削除、位置の移動などの編集操作を行う。

- 詳しくは「プレゼンテーションデータを編集する」(19ページ)を参照してください。

5 プレゼンテーションの再生設定を行う。

- 詳しくは「プレゼンテーションデータの再生設定を行う」(20ページ)を参照してください。

6 プレゼンテーションデータを保存するには、[保存]ボタンをクリックする。

- 詳しくは「プレゼンテーションデータを保存する」(23ページ)を参照してください。

オプション設定を行う

オプション設定を使うと、PowerPointファイルをプレゼンテーションデータに変換する場合の画質を設定することができます。

重要

この設定は、PowerPointファイルからの変換前に行ってください。
いったん変換を行った後でこの設定を変更しても、すでに変換されたプレゼンテーションデータに対しては有効にはなりません。

オプション設定を行うには

1 [ツール] - [オプション]を選ぶ。

- 「オプション」ダイアログが表示されます。

2 ダイアログ上で希望する設定を行う。

この設定を行うには：	この操作を行う：
PowerPointファイルをプレゼンテーションデータに変換するとき、画像ファイルを高画質JPEGとして保存する	「高画質」を選択
PowerPointファイルをプレゼンテーションデータに変換するとき、画像ファイルを圧縮率の高いJPEGとして保存する	「標準」を選択

3 設定が済んだら[OK]ボタンをクリックする。

- 設定がEZ-Converterに適用され、ダイアログが閉じます。

プレゼンテーションデータを編集する

PowerPointファイルを変換したり、画像ファイルを登録して作成したプレゼンテーションデータに対して、画像ファイルの追加、削除、または位置の移動を行うことができます。

ここでの操作を行う前に、あらかじめEZ-Converterウィンドウに編集したいプレゼンテーションデータを表示しておいてください。「プレゼンテーションデータを新規作成する」(15ページ)または「プレゼンテーションデータを開く」(24ページ)を参照してください。

プレゼンテーションデータに画像ファイルを追加するには

1 EZ-Converterウィンドウで、画像ファイルを追加したい位置の1つ手前(または1つ後ろ)の縮小画像をクリックして選択する。

2 プレゼンテーションデータに追加したい画像ファイル(*.jpg, *.jpeg, *.jpe, *.bmp)を、Windowsのエクスプローラー上で選択する。

- 複数の画像ファイルを選択しても構いません。

3 選択した画像ファイルをEZ-Converterのウィンドウにドラッグ＆ドロップする。

- 手順1で選択した縮小画像の直後に画像ファイルを追加したい場合はそのまま、直前に追加したい場合は[Ctrl]キーを押しながら、ドラッグ＆ドロップします。
- 画像ファイルが追加され、ファイル一覧の表示が更新されます。

メモ

手順2、3の操作の代わりに、ボタンをクリックするか[編集] - [プレゼンテーションファイルに画像を追加]を選び、表示される「追加画像を選択」ダイアログでプレゼンテーションデータに追加したい画像ファイル1つを選択することもできます。この操作を行った場合、選択した画像ファイルは手順1で選択した縮小画像の直後に追加されます。

プレゼンテーションデータ上の画像ファイルを削除するには

1 **EZ-Converterウィンドウで、削除したい画像ファイルの縮小画像1つをクリックして選択する。**

2 **ボタンをクリックするか[編集] - [プレゼンテーションファイルから画像を削除]を選ぶ。**

- 選択した画像が削除されます。
- 手順2の操作は、パソコンのキーボードの[Delete]キーを押して行うこともできます。

メモ

プレゼンテーションデータ上でファイルを削除しても、元の画像データがパソコンから削除されることはありません。

プレゼンテーションデータ上の画像ファイルを1つ前(または1つ後ろ)に移動するには

1 **EZ-Converterウィンドウで、1つ前に移動したい画像ファイルの縮小画像をクリックして選択する。**

2 **1つ前に移動するにはボタンをクリックするか[編集] - [画像を一つ前に移動]を、1つ後ろに移動するにはボタンをクリックするか[編集] - [画像を一つ後ろに移動]を選ぶ。**

直前に行った操作を取り消すには

[編集] - [元に戻す]を選ぶか、パソコンのキーボードで[Ctrl]+[z]を押します。
直前に行った画像ファイルの追加、削除、または位置の移動操作を取り消すことができます。

プレゼンテーションデータの再生設定を行う

EZ-Converterで作成したプレゼンテーションデータを本機のビューアーを使って再生するときに適用される、各種の再生設定を行うことができます。再生設定には次の設定項目があります。

- ページ送りを手動で行うか、自動で行うかの切り替え
- ページ送りを自動で行う場合の画像ファイル1つあたりの表示時間
- リピート指定のオン/オフ切り替え
- 画像ファイルを切り替えるときの効果の設定

メモ

ここで行う再生設定は、プレゼンテーションファイル(.plf)上に保存されます。

プレゼンテーションデータの再生設定を行うには

1 **EZ-Converterウィンドウに、再生設定を行いたいプレゼンテーションデータを表示する。**

- 「プレゼンテーションデータを新規作成する」(15ページ)または「プレゼンテーションデータを開く」(24ページ)を参照してください。

2 **ボタンをクリックするか[ツール] - [プレゼンテーションファイル設定]を選ぶ。**

- 「プレゼンテーションファイル設定」ダイアログが表示されます。

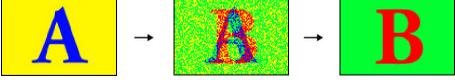
3 **ダイアログ上で希望する設定を行う。**

この設定を行うには：	この操作を行う：
プレゼンテーション実行時のページ送りを手動で行う	「表示間隔」から「手動」を選択
プレゼンテーション実行時のページ送りを自動で行う	「表示間隔」から「自動」を選択
自動ページ送りの表示間隔を指定する(「表示間隔」から「自動」を選択した場合のみ指定可能)	「自動」ボタンの右側のドロップダウンリストから表示間隔を選択(5秒、10秒、30秒、1分、5分のいずれかから選択可能)
最後の画像ファイルの表示後、先頭の画像ファイルに戻って繰り返し再生を行う	「リピート指定」から「オン」を選択
最後の画像ファイルを表示したら、再生を終了する	「リピート指定」から「オフ」を選択
画像ファイルを切り替えるときの視覚効果を加えない	「表示切替効果」から「オフ」を選択
画像ファイルを切り替えるときに視覚効果を加える	「表示切替効果」から「オン」を選択
画像ファイルの切り替え時の視覚効果を指定する(「表示切替効果」から「オン」を選択を選択した場合のみ指定可能)	「オン」ボタンの右側のドロップダウンリストから視覚効果を選択(詳細は「視覚効果について」(22ページ)を参照)

4 **すべての設定が済んだら[OK]ボタンをクリックする。**

視覚効果について

「プレゼンテーションファイル設定」ダイアログの「表示切替効果」で「オン」を選択すると、本機のビューアーでプレゼンテーションを再生するときの画像ファイル切り替え時に、視覚効果を加えることができます。視覚効果には、次の種類があります。

種類	視覚効果
スライドイン　左から右	A → B A → B
スライドイン　右から左	A → A B → B
スライドイン　上から下	A → B A → B
スライドイン　下から上	A → A B → B
ワイプ　左から右	A → B A → B
ワイプ　右から左	A → A B → B
ワイプ　上から下	A → B A → B
ワイプ　下から上	A → A B → B
ディゾルブ	A → A B → B

メモ

プレゼンテーションデータ保存時の再生設定とは異なる再生設定でプレゼンテーションを行いたいときは、「ビューアー設定メニューを使う」(39ページ)を参照してください。

プレゼンテーションデータを保存する

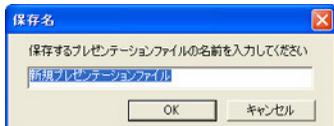
作成したプレゼンテーションデータは、USBメモリーやパソコンのハードディスクに保存することができます。

未保存のプレゼンテーションデータを新規保存するには

1 **「プレゼンテーションデータを新規作成する」(15ページ)の操作を行う。**

2 **プレゼンテーションデータをUSBメモリーに保存したい場合は、USBメモリーをパソコンのUSB端子に接続する。**

- 接続方法については、お使いのパソコンに付属している説明書、およびUSBメモリーの説明書に従ってください。

3 **[保存]ボタンをクリックするか、[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを保存]を選ぶ。**

- 「保存名」ダイアログが表示されます。

- このとき、PowerPointファイルを変換したプレゼンテーションデータの保存時は、元のPowerPointファイルと同じファイル名が、テキストボックスに初期表示されます。その他の場合は「新規プレゼンテーションファイル」と初期表示されます。

4 **希望するファイル名を入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

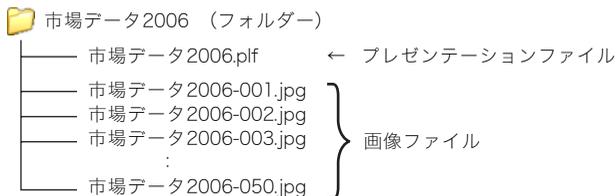
- 保存先を指定するダイアログが表示されます。

5 **保存先を指定し、[OK]ボタンをクリックする。**

- 指定した保存先に、手順4で入力したファイル名と同名のフォルダーが作成され、そのフォルダー内にプレゼンテーションデータ一式が保存されます。
- 指定した保存先に、すでに同名のフォルダーが存在する場合は、ここで「上書きしますか？」という確認メッセージが表示されます。同名のフォルダー内に含まれるすべてのファイルを削除した上で、プレゼンテーションデータを保存するには[はい]を、同名のフォルダー内に含まれるファイルを削除したくない場合は[いいえ]をクリックします。[いいえ]をクリックすると、手順3のダイアログ表示に戻るので、手順4以降の操作をやり直してください。

メモ

手順4で入力したファイル名に応じて、次のようなフォルダーと画像ファイル、プレゼンテーションファイルが作成されます。

例:ファイル名として「市場データ2006」を入力した場合(登録画像ファイル数:50)

保存済みのプレゼンテーションデータを編集した後で上書き保存するには

1 **「プレゼンテーションデータを編集する」(19ページ)または「プレゼンテーションデータの再生設定を行う」(20ページ)の操作を行う。**

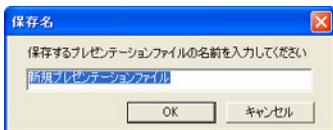
2 **ボタンをクリックするか、[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを上書き保存]を選ぶ。**

- 編集中のプレゼンテーションデータが上書き保存されます。

保存済みのプレゼンテーションデータを編集した後で別名で保存するには

1 **EZ-Converterウィンドウに、別名で保存したいプレゼンテーションデータを表示する。**

2 **[保存]ボタンをクリックするか、[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを保存]を選ぶ。**

- 「保存名」ダイアログが表示されます。

- この後の操作は、「未保存のプレゼンテーションデータを新規保存するには」(23ページ)の手順4以降と同じです。

プレゼンテーションデータを開く

保存済みのプレゼンテーションデータを開いて再編集したり、別名で保存することができます。

メモ

プレゼンテーションデータを開く際は、プレゼンテーションファイル(.plf)を指定します。

プレゼンテーションファイルを開くには

1 **USBメモリーに保存されているプレゼンテーションファイルを開きたい場合は、USBメモリーをパソコンのUSB端子に接続する。**

2 **ボタンをクリックするか[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを開く]を選ぶ。**

- 「プレゼンテーションファイルを開く」ダイアログが表示されます。

3 **開きたいプレゼンテーションファイル(.plf)を選択し、[開く]をクリックする。**

- 選択したプレゼンテーションファイルが開き、EZ-Converterウィンドウに表示されます。

ヘルプを見る

EZ-Converterのヘルプを見るには、[ヘルプ] - [ヘルプを開く]を選びます。

バージョン情報を確認する

EZ-Converterのバージョン情報を確認するには、[ヘルプ] - [バージョン情報]を選びます。

EZ-Converterのメニュー／ボタン一覧

EZ-Converterのメニューコマンドと、EZ-Converterウィンドウ上のボタンの機能の概略です。

これを実行するには：	このメニューを選ぶか：	このボタンをクリックする：
PowerPointファイルをプレゼンテーションデータに変換してEZ-Converterウィンドウに表示する	[ファイル] - [PowerPointファイルの変換]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータをクリアする	[ファイル] - [プレゼンテーションファイルのクリア]	
保存済みのプレゼンテーションファイル(.plf)を開いてEZ-Converterウィンドウに表示する	[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを開く]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータを上書き保存する	[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを上書き保存]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータを新規保存する	[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを保存]	保存
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータに名前を付けて保存する	[ファイル] - [プレゼンテーションファイルを保存]	保存
EZ-Converterを終了する	[ファイル] - [終了]	−
EZ-Converterウィンドウで最後に行った編集操作を取り消す	[編集] - [元に戻す]	−
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータに画像ファイルを追加する	[編集] - [プレゼンテーションファイルに画像を追加]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータから特定の画像ファイルを削除する	[編集] - [プレゼンテーションファイルから画像を削除]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータ上の画像ファイルを1つ前に移動する	[編集] - [画像を一つ前に移動]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータ上の画像ファイルを1つ後ろに移動する	[編集] - [画像を一つ後ろに移動]	
EZ-Converterウィンドウに表示中のプレゼンテーションデータの再生設定を行う	[ツール] - [プレゼンテーションファイル設定]	
EZ-Converterがプレゼンテーションデータとして保存する画像ファイルの画質やサイズの設定を行う	[ツール] - [オプション]	−
EZ-Converterのヘルプを開く	[ヘルプ] - [ヘルプを開く]	−
EZ-Converterのバージョン情報ダイアログを開く	[ヘルプ] - [バージョン情報]	−

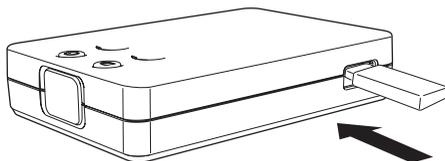
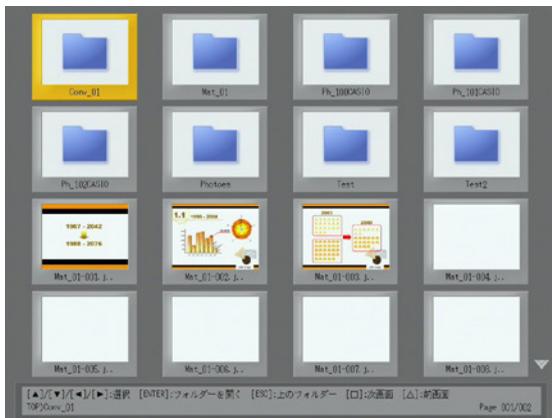
プレゼンテーションを実行する(ビューアー機能を使う)

「ビューアー」は、本機に接続されたUSBメモリー内に保存されている画像ファイルや動画ファイルを再生するための、本機の内蔵アプリケーションです。対応USBメモリー(12ページ「本機と接続が可能なUSBメモリーについて」参照)を本機のUSB端子に接続すると、自動的にビューアーが起動して、操作を開始することができます。

本機にUSBメモリーを接続する

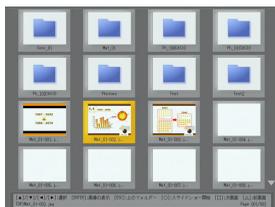
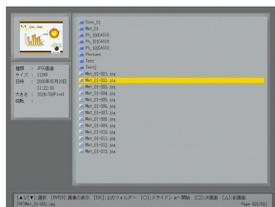
1 **付属のACアダプターを本機のACアダプター端子に接続し、ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続する。**

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 本機の[POWER]インジケーターが緑色に点灯し、接続されているプロジェクターから本機のロゴ画面が投映されます。

2 **本機のUSB端子に、本機に接続したプロジェクターから投映したいデータの入ったUSBメモリーを下図のように差し込む。**

- 本機がUSBメモリーを認識すると自動的にビューアーが起動し、USBメモリー内のファイル一覧が表示されます。

メモ

- ファイル一覧には、本機が認識することができるファイル(拡張子が.jpg/.jpeg/.jpe/.bmp/.avi/.mp4のファイル)以外は表示されません。また、ファイル一覧に表示されているファイルでも、本機で再生することができない場合があります。
- ファイル一覧には、フォルダー、動画ファイル、画像ファイルの順に内容が一覧表示されます。動画ファイルの再生操作については、「ビューアーを使って動画を再生する」(37ページ)を参照してください。

ファイル一覧の各種操作

ビューアーが起動すると、最初にファイル一覧が表示されます。ファイル一覧には「サムネイル表示」と「ツリー表示」の2つの表示形式があります。

サムネイル表示

ツリー表示

サムネイル表示:

USBメモリー内の画像ファイル(および動画ファイル)が、サムネイル(縮小画像)として一覧表示されます。フォルダーはアイコンで表現されます。

メモ

サムネイル表示上に縮小画像が表示されず、「?」というアイコンが表示される画像ファイルは、ビューアーを使って表示することができない画像ファイルです。

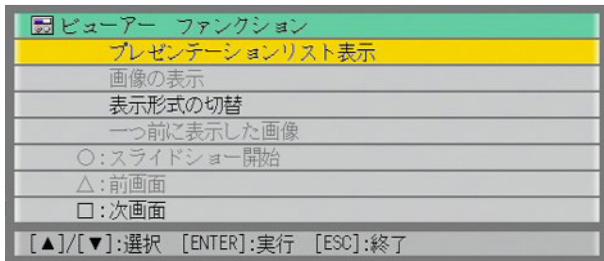
ツリー表示:

USBメモリー内のフォルダー、画像ファイル(および動画ファイル)が、Windowsのエクスプローラーのようなツリー形式で一覧表示されます。

サムネイル表示とツリー表示の間で切り替えるには

1 **[FUNC]キーを押す。**

- 次のビューアーファンクションメニューが表示されます。

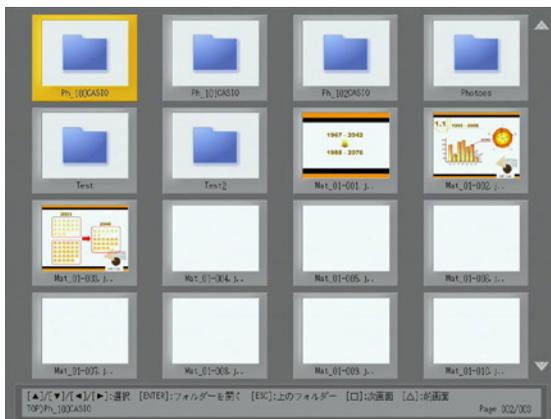
ビューアー　ファンクション
プレゼンテーションリスト表示
画像の表示
表示形式の切替
一つ前に表示した画像
○:スライドショー開始
△:前画面
□:次画面
[▲]/[▼]:選択　[ENTER]:実行　[ESC]:終了

2 **[▼]キーを使って「表示形式の切替」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- サムネイル表示とツリー表示の間で切り替わります。

ファイル一覧をスクロール(次画面／前画面を表示)するには

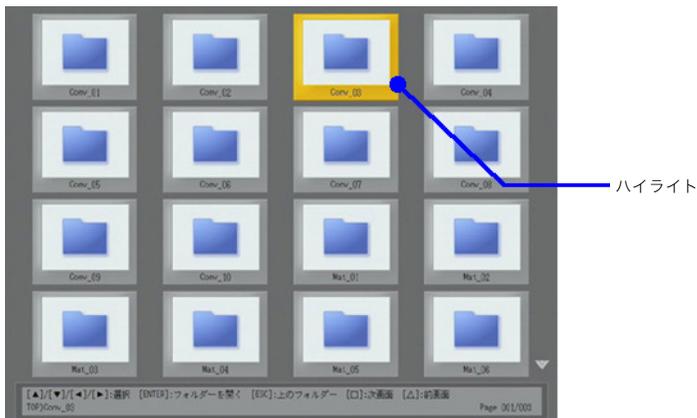
スクロールは1画面単位で行うことができます。次画面を表示するには[□]キーを、前画面を表示するには[△]キーを押します。

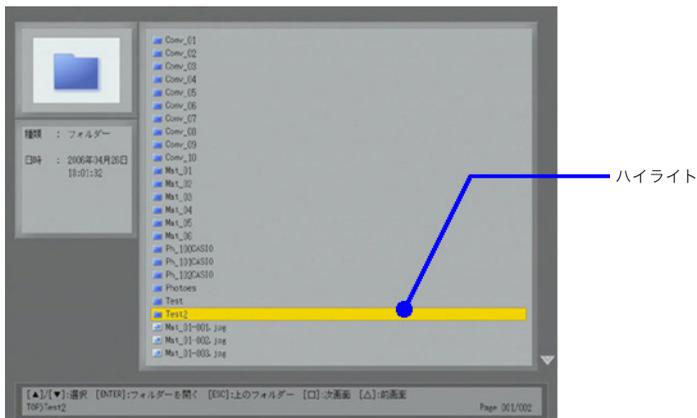
メモ

ファイルやフォルダーがファイル一覧の1画面に収まらない場合は、画面右端にスクロールアイコン(▼/▲)が現れます。スクロールアイコンは、次画面があるときは下方向(▼)、前画面があるときは上方向(▲)が表示されます。[□]キーの操作は▼アイコンが表示されているとき、[△]キーの操作は▲アイコンが表示されているときに有効です。

特定のファイルやフォルダーを選択するには

ファイル一覧では、操作対象のファイルやフォルダーを次の要領で選択することができます。

サムネイル表示の場合:

[▲][▼][◀][▶]キーを使ってハイライトを上下左右に移動します。ハイライトのあるファイルまたはフォルダーが、現在選択されています。

ツリー表示の場合:

[▲][▼]キーを使ってハイライトを上下に移動します。ハイライトのあるファイルまたはフォルダーが、現在選択されています。

フォルダーを開くには

1 **カーソルキーを使って、開きたいフォルダーを選択する。**

2 **[ENTER]キーを押す。**

- 選択したフォルダーが開き、フォルダー内のファイル一覧に切り替わります。
- ツリー表示中は、[ENTER]キーの代わりに[▶]キーを押しても、フォルダーが開きます。

現在開いているフォルダーを閉じて、1つ上の階層に移動するには

サムネイル表示の場合:
[ESC]キーを押します。

ツリー表示の場合:
[ESC]キーまたは[◀]キーを押します。現在ハイライトしているファイル(またはフォルダー)のある階層が閉じて、1つ上の階層のフォルダーにハイライトが移動します。

特定の画像ファイルを全画面表示(投映画面全体に表示)するには

1 **カーソルキーを使って、投映画面全体に表示したい画像ファイルを選択する。**

2 **[ENTER]キーを押す。**
- 選択した画像ファイルが投映画面全体に表示されます。

3 **ファイル一覧に戻るには、[ESC]キーを押す。**

メモ
- 画像ファイルのファイルサイズが大きすぎて全画面表示できない場合は、「表示できない画像ファイルです」というメッセージが表示されます。
- 画像ファイルの全画面表示中に可能な各種操作については、「画像ファイルを投映画面全体に表示しているときの各種操作」(35ページ)を参照してください。

特定の画像ファイルからスライドショーを開始するには

1 **カーソルキーを使って、スライドショーを開始したい画像ファイルを選択する。**

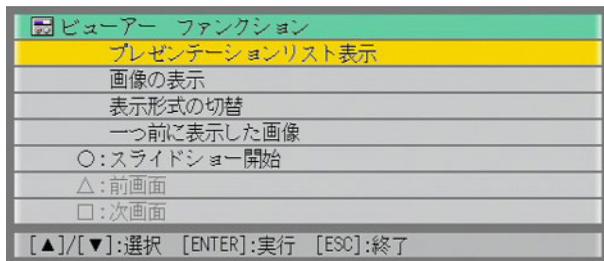
2 **[○]キーを押す。**
- 選択した画像ファイルが投映画面全体に表示されます。所定の時間(初期設定では5秒)が経過すると、自動的に次の画像ファイルに切り替わります。
- 「スライドショーの表示切替」が「手動」に設定されている場合は、自動的に次の画像ファイルの表示には移行しません。[▶]キーを押すと、次の画像ファイルに切り替わります。

3 **スライドショーの途中でファイル一覧に戻るには、[ESC]キーを押す。**

メモ

- スライドショーによって表示されるのは、手順1で選択した画像ファイルと同じフォルダー内にある画像ファイル(.jpgまたは.bmpファイル)だけです。その他のファイルはすべて無視されます。
- スライドショーの実行中に可能な各種操作については、「スライドショー実行中の各種操作」(36ページ)を参照してください。
- スライドショー実行時の画像ファイル1つあたりの表示時間や、表示切り替え時の効果といった再生設定を変更することができます。詳しくは「ビューアー設定メニューを使う」(39ページ)を参照してください。
- EZ-Converterで作成したプレゼンテーションデータによるスライドショーの実行時には、プレゼンテーションデータ上の再生設定が適用されます。詳しくは「プレゼンテーションデータの再生設定を行う」(20ページ)を参照してください。

1つ前に全画面表示した画像ファイルにハイライトを移動するには

1 **[FUNC]キーを押して、ビューアーファンクションメニューを表示する。**

2 **[▼]キーを使って「一つ前に表示した画像」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 1つ前に全画面表示した画像ファイルにハイライトが移動します。

メモ

この機能は、例えば次のような場合に使うと便利です。

- 動画ファイルを投映した後に、以前に投映した画像ファイルにハイライトを戻す場合。
- スライドショーを中断し、動画ファイルを投映した後、再び中断したスライドショーの画像ファイルにハイライトを戻す場合。

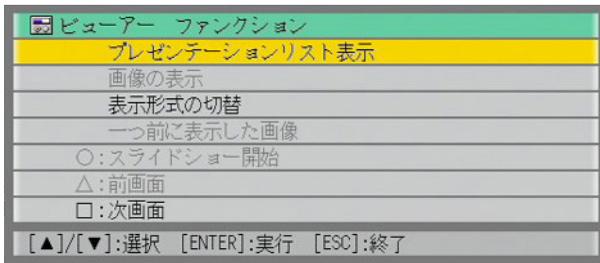
プレゼンテーションリストを使う (EZ-Converterで作成したプレゼンテーションの実行)

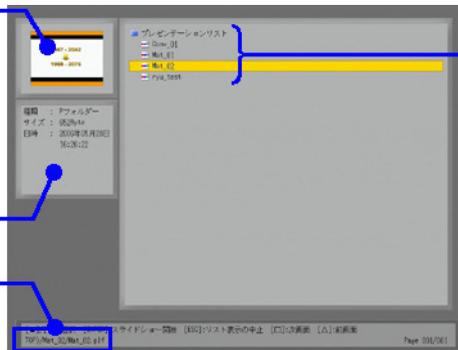
本機に付属しているパソコン用ソフトウェアのEZ-Converter（13ページ）を使って作成したプレゼンテーションファイル（.plf）を含むフォルダーのことを、「プレゼンテーションフォルダー」と呼びます。

プレゼンテーションフォルダーは、ビューアーのファイル一覧ではその他のフォルダーと同じように表示されるため、どのフォルダーがプレゼンテーションフォルダーか見分けることはできません。このためビューアーには、USBメモリー内のプレゼンテーションフォルダーだけを検索して表示する「プレゼンテーションリスト」が用意されています。

プレゼンテーションリストを表示するには

1 ファイル一覧の表示中に[FUNC]キーを押す。

- 次のビューアーファンクションメニューが表示されます。

2 「プレゼンテーションリスト表示」が選ばれているのを確認し、[ENTER]キーを押す。

- 次のようなプレゼンテーションリストが表示されます。

プレゼンテーションファイルによるスライドショーを実行するには

1 **[▼]または[▲]キーを使って、実行したいプレゼンテーションファイルにハイライトを移動し、選択する。**

2 **[ENTER]キー(または[○]キー)を押す。**

- 選択したプレゼンテーションファイルによるスライドショーが開始されます。
- 画像ファイルの表示順や、各画像の表示時間、表示切り替え時の効果の有無などは、プレゼンテーションファイルに記述されている設定情報に従います。詳しくは「プレゼンテーションデータの再生設定を行う」(20ページ)を参照してください。

3 **スライドショーの途中でファイル一覧に戻るには、[ESC]キーを押す。**

メモ

- [ESC]キーを押してスライドショーを途中で終了した場合、スライドショーが自動的に終了した場合のいずれの場合も、ファイル一覧に戻ります。(プレゼンテーションリスト表示には戻りません。)
- スライドショーの実行中に可能な各種操作については、「スライドショー実行中の各種操作」(36ページ)を参照してください。

プレゼンテーションリストからファイル一覧に戻るには

[ESC]キーを押します。

画像ファイルを投映画面全体に表示しているときの各種操作

前後の画像ファイルを表示するには

[▶]キーまたは[◀]キーを押します。

- [▶]キーを押すと、次の画像ファイルが投映画面全体に表示されます。
- [◀]キーを押すと、1つ前の画像ファイルが投映画面全体に表示されます。

メモ

（表示できない画像ファイルについて）

[▶]キーまたは[◀]キーを押して表示しようとした画像ファイルのファイルサイズが大きすぎて投映画面全体に表示することができない場合は、「表示できない画像ファイルです」というメッセージが表示されます。

画像を回転表示するには

[▲]キーまたは[▼]キーを押します。

- [▲]キーを押すと、画像が右方向に90度回転して表示されます。
- [▼]キーを押すと、画像が左方向に90度回転して表示されます。

メモ

[FUNC]キーを押すと表示されるビューアーファンクションメニューで「画像を右90度回転」または「画像を左90度回転」を反転表示させ、[ENTER]キーを押して、画像を回転させることも可能です。

投映画面全体に表示中の画像ファイルからスライドショーを開始するには

[○]キーを押します。

メモ

[FUNC]キーを押すと表示されるビューアーファンクションメニューで「スライドショー開始」を反転表示させ、[ENTER]キーを押して、スライドショーを開始することも可能です。

投映画面全体に画像を表示しているときにファイル一覧に戻るには

[ESC]キーを押します。

スライドショー実行中の各種操作

(スライドショーの表示切替が自動に設定されているときに)スライドショーを一時停止するには

[□]キーを押します。

(スライドショーの表示切替が自動に設定されているときに)一時停止したスライドショーを再開するには

[○]キーを押します。

スライドショー実行中に前後の画像ファイルを表示するには

カーソルキーを押します。

- [▶]キーを押すと、次の画像ファイルが投映画面全体に表示されます。
- [◀]キーを押すと、1つ前の画像ファイルが投映画面全体に表示されます。

メモ

スライドショーの一時停止中、または「スライドショーの表示切替」が「手動」に設定されている場合を除き、カーソルキーを押して前後の画像ファイルを表示した後で所定の時間が経過すると、自動的に表示中の画像ファイルの次の画像ファイルに表示が切り替わります。

スライドショーを中止してファイル一覧に戻るには

[ESC]キーを押します。

スライドショーの開始エラーについて

「特定の画像ファイルからスライドショーを開始するには」（31ページ）、「プレゼンテーションファイルによるスライドショーを実行するには」（34ページ）、または「投映画面全体に表示中の画像ファイルからスライドショーを開始するには」（35ページ）の操作を実行したときに、次のエラーメッセージが表示されてスライドショーが開始できない場合があります。

スライドショーの設定ファイルに異常があります。 スライドショーを開始することができません。

このような場合は、EZ-Converterで再度プレゼンテーションファイルを作成してUSBメモリーに保存し直し、保存し直したプレゼンテーションファイルを使ってスライドショーを実行してください。

ビューアーを使って動画を再生する

ここでは、ビューアーを使って動画ファイルを再生する各種操作について説明します。

動画ファイルを再生するには

1 **ファイル一覧で、再生したい動画ファイルを選択する。**

- ファイル一覧で特定のファイルを選択する操作については、「特定のファイルやフォルダーを選択するには」（30ページ）を参照してください。

2 **[ENTER]キーを押す。**

- 選択した動画ファイルの再生が開始されます。

3 **再生を途中で中止してファイル一覧に戻るには、[ESC]キーを押す。**

ご注意

本機で再生することができないタイプの動画ファイルを選択して[ENTER]キーを押すと、「再生できない動画ファイルです。」というエラーメッセージが表示されます。本機で再生することが可能な動画ファイルについては、「再生が可能なデータの種類について」（12ページ）を参照してください。

動画ファイルの再生中の各種操作について

動画ファイルの再生中は、動画の一時停止、早送り、早戻し、再生の中止、再生時間の表示／非表示切り替えを行うことができます。

これを実行するには：	この操作を行う：
再生を一時停止する	[ENTER]キーを押す （一時停止状態から動画の再生を再開するには、再度[ENTER]キーを押します。）
早戻しする	[◀]キーを押す
早送りする	[▶]キーを押す
再生を中止する	[ESC]キーを押す
再生中の動画ファイルの先頭へ移動して一時停止する	1. [FUNC]キーを押してビューアーファンクションメニューを表示する。 ● このとき、「先頭へ移動」が選択されています。 2. [ENTER]キーを押す。
再生中の動画ファイル末尾へ移動して一時停止する	1. [FUNC]キーを押してビューアーファンクションメニューを表示する。 2. [▼]キーを使って「末尾へ移動」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。
（ファイル一覧での表示順が現在再生中の動画ファイルの）次の動画ファイルの先頭へ移動して一時停止する	1. [FUNC]キーを押してビューアーファンクションメニューを表示する。 2. [▼]キーを使って「次の動画」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。
（ファイル一覧での表示順が現在再生中の動画ファイルの）1つ前の動画ファイルの先頭へ移動して一時停止する	1. [FUNC]キーを押してビューアーファンクションメニューを表示する。 2. [▼]キーを使って「前の動画」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。
再生時間の表示／非表示を切り替える	[◯]キーを押すか、次の操作を行う 1. [FUNC]キーを押してビューアーファンクションメニューを表示する。 2. [▼]キーを使って「時間表示のオン･オフ」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。

メモ

動画ファイルの再生中に[FUNC]キーを押してビューアーファンクションメニューを表示すると、動画の再生は一時停止します。[ESC]キーを押してビューアーファンクションメニューを閉じると、動画の再生が一時停止位置から再開されます。

ビューアー設定メニューを使う

ビューアー設定メニューを使うと、ビューアーの表示設定を行ったり、EZ-Converterでプレゼンテーションデータを保存した時の再生設定とは別の設定でプレゼンテーションを行うことができます。

ビューアー　設定		
画像の拡大・縮小	◉拡大・縮小する	○拡大しない
表示順の指定	ファイル名(昇順)	変更 [ENTER]
起動時のモード	◉縮小	○ツリー
スライドショーの表示切替	◉手動	○自動
スライドショーの表示間隔	5秒	変更 [ENTER]
スライドショーの切替効果	スライドイン　左から右	変更 [ENTER]
スライドショーのリピート指定	○オン	◉オフ
動画表示	拡大する	変更 [ENTER]
ビューアー設定の初期化		実行 [ENTER]
[▲]/[▼]:選択　[◄]/[►]:変更　[ESC]:終了		

メモ

- EZ-Converterで作成したプレゼンテーションファイルによるスライドショーを実行すると、ビューアー設定メニューの中のスライドショーに関連する各設定(スライドショーの表示切替、スライドショーの表示間隔、スライドショーの切替効果、スライドショーのリピート指定)が、実行したプレゼンテーションファイルに保存されている再生設定(20ページ参照)に従って自動的に切り替わります。
- EZ-Converterで作成したプレゼンテーションファイルの「画像表示切替」の設定が「自動」になっているスライドショーの設定を変更して実行したい場合には、いったんスライドショーを一時停止してこのメニューを開き、設定を変更します。

ビューアー設定メニューを使って設定を行うには

1 **[MENU]キーを押す。**

- ビューアー設定メニューが表示されます。

2 **[▼]または[▲]キーを押して、設定を変更したい項目を反転表示させる。**

3 **設定を変更する。**

● 反転表示させた行の表示内容に応じて、次の操作を行います。

行の右端に[ENTER]と表示されている場合:

a. [ENTER]キーを押す。

b. 表示される選択肢一覧で[▼]または[▲]キーを押し、希望する選択肢を反転表示させる。
(例)手順2で「表示順の指定」を選んだ場合の選択肢一覧

c. [ENTER]キーを押す。

● ビューアー設定メニューに戻ります。

行の右端に[ENTER]と表示されていない場合:

[◀]または[▶]キーを押して、希望する選択肢に●印が付いた状態にします。

4 **設定を変更したいすべての項目について、手順2と3の操作を行う。**

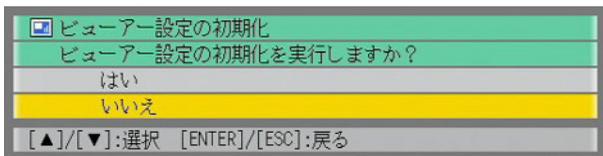
5 **ビューアー設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

ビューアー設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化する

1 **[MENU]キーを押す。**

● ビューアー設定メニューが表示されます。

2 **[▼]キーを押して「ビューアー設定の初期化」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

● 次のような確認ダイアログが表示されます。

3 **[▲]キーを押して「はい」を選ぶ。**

4 **初期化を実行するには[ENTER]キーを押す。**

● ビューアー設定メニューに含まれる全項目の設定が初期化されます。

● 初期化の実行をやめるには、[ENTER]キーを押さずに[ESC]キーを押します。

5 **ビューアー設定メニューの操作を終了するには、[ESC]キーを押す。**

ビューアー設定メニュー項目の内容詳細

ビューアー設定メニューに含まれる各項目の内容を説明します。

設定項目名	解説
画像の拡大･縮小	画像ファイルのサイズがXGA以外のときに、投映画面に合わせて画像を拡大または縮小して表示するか、しないかを設定します。 **拡大･縮小する：** 画像ファイルのサイズがXGA以外のときに、投映画面に合わせて画像を拡大または縮小して表示します。 **拡大しない：** 画像ファイルを元のサイズのまま表示します。
表示順の指定	ファイル一覧またはプレゼンテーションリストに表示するファイルの表示順を設定します。 **ファイル名(昇順)：** ファイル名の昇順に表示します。 **ファイル名(降順)：** ファイル名の降順に表示します。 **時刻順(新)：** ファイルの更新時刻が新しいものから順に表示します。 **時刻順(古)：** ファイルの更新時刻が古いものから順に表示します。
起動時のモード	ビューアーの起動時に、ファイル一覧を「サムネイル表示」にするか、「ツリー表示」にするかを設定します。表示形式については「ファイル一覧の各種操作」(28ページ)を参照してください。 **縮小：** ビューアー起動時のファイル一覧を「サムネイル表示」にします。 **ツリー：** ビューアー起動時のファイル一覧を「ツリー表示」にします。
スライドショーの表示切替	スライドショー実行時のページ送りを手動で行うか、自動で行うかを設定します。 **手動：** スライドショー実行時のページ送りを手動で行います。 **自動：** スライドショー実行時のページ送りを自動で行います。
スライドショーの表示間隔	スライドショー実行時のページ送りを自動で行う場合の表示間隔を、次の中から選択します。 **5秒／10秒／30秒／1分／5分**
スライドショーの切替効果	スライドショー実行時に画像ファイルを切り替えるときの視覚効果を、次の中から選択します。設定に応じて得られる効果については、「視覚効果について」(22ページ)を参照してください。 **オフ／スライドイン 左から右／スライドイン 右から左／スライドイン 上から下／スライドイン 下から上／ワイプ 左から右／ワイプ 右から左／ワイプ 上から下／ワイプ 下から上／ディゾルブ**

設定項目名	解説
スライドショーのリピート指定	スライドショーを繰り返し実行するかどうかを設定します。また、動画ファイルの再生時に、繰り返し再生を行うかどうかも、同時に設定します。 **オン:** スライドショーを繰り返し実行します。また、動画ファイルを繰り返し再生します。 **オフ:** スライドショーを1回で終了します。また、動画ファイルの再生を1回で終了します。
動画表示	動画再生時の表示サイズを設定します。 **拡大する:** 投映画面に合わせて画像を拡大して動画を再生します。 **拡大しない:** 動画ファイルを元のサイズのまま再生します。
ビューアー設定の初期化	ビューアー設定メニュー内のすべての項目の設定を、初期状態に戻します。本項目の操作手順については、「ビューアー設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化する」(40ページ)を参照してください。

ビューアー機能のエラーメッセージ一覧

メッセージ	原因	対応
スライドショーの設定ファイルに異常があります。 スライドショーを開始することができません。	EZ-Converterで作成したプレゼンテーションファイルの一部に異常がある。	EZ-Converterを使って、プレゼンテーションデーター式(プレゼンテーションファイルおよび画像ファイル)を再度USBメモリーに保存する。
表示するファイルがありません。	ビューアーで内容を表示しようとしたフォルダーの中に、表示可能なフォルダー、画像ファイル、動画ファイルが無い。	● EZ-Converterを使って、プレゼンテーションデータをUSBメモリーに保存する。 ● パソコンからUSBメモリー上のフォルダーに画像ファイルまたは動画ファイルをコピーする。
表示できない画像ファイルです。	画像ファイルの容量が大きくて表示することができない。または、画像ファイルに誤りがあり、表示することができない。	6MByte以下にリサイズした画像ファイルを、USBメモリーに保存する。 **ご注意** プログレッシブ形式のJPEG画像はサポートしていません。
ファイルが見つかりません。	プレゼンテーションデータの一部として保存した画像ファイルが見つからない。	EZ-Converterを使って、プレゼンテーションデーター式(プレゼンテーションファイルおよび画像ファイル)を再度USBメモリーに保存する。
再生できない動画ファイルです。	ビューアーで再生できない形式の動画ファイルを再生しようとした。または、動画ファイルに誤りがある。	● 再生できなかった動画ファイルを、ビューアーで再生可能な形式に変換してから、USBメモリーにコピーする。 ● ビューアーで再生可能な形式の別の動画ファイルを、USBメモリーにコピーする。

ビューアー機能のトラブルシューティング

ファイル一覧にフォルダーやファイルが表示されない

- 1つのフォルダー内に1000個以上のフォルダーやファイルがあると、すべてのフォルダーやファイルは表示されません。フォルダーやファイルの数を減らしてください。
- ビューアー機能を使って表示できるUSBメモリー内のフォルダーの階層は、最大で10階層目までです。10階層目を越えるフォルダーの内容は、表示されません。

画像を再生するのに時間がかかる、画像をスムーズに再生したい

BMP画像やデジタルカメラで撮影した容量の大きい画像ファイルをビューアー機能のファイル一覧から表示させた場合、表示までに時間がかかります。このような場合は、EZ-Converterを使ってプレゼンテーションデータに変換します。画像は、再生がスムーズなJPEG画像に変換されます。

スライドショーを実行すると意図しない動作をする

- EZ-Converterを使ってプレゼンテーションデータを作成し、保存してください。
- プレゼンテーションデータでないフォルダから画像ファイルをハイライトさせてスライドショーを開始する場合は、事前にビューアー設定メニュー内のスライドショーに関連する各設定（スライドショーの表示切替、スライドショーの表示間隔、スライドショーの切替効果、スライドショーのリピート指定）を行ってください。

ここでは本機とパソコンを無線LANで接続し、パソコンのディスプレイ内容を無線LAN経由で本機に接続したプロジェクターから投映する操作について説明します。

対応無線LAN機器について

本機とパソコンを無線LANで接続するためには、弊社製の無線アダプターYW-2Sが必要です。YW-2SのパッケージはUSBタイプの無線アダプター(YW-2)が2本セットになっており、1本を本機用に、もう1本をパソコン用にお使いいただけます。

ご注意

- YW-2以外の無線アダプターは、本機では動作しません。
- YW-2Sに同梱されているシール(PJ・PC)について
  本機では、このシールは使用しません。

本機と無線LANで接続することが可能なパソコンについて

「動作環境」(10ページ)に適合しており、かつ次のいずれかの条件を満たすパソコンは、本機(YW-2装着時)と無線LANで接続することが可能です。

a. YW-2を接続したパソコン

b. IEEE 802.11b規格に準拠した無線LAN機能を内蔵したパソコン

c. YW-2以外の無線アダプターによってIEEE 802.11b規格に準拠した無線LAN機能を追加したパソコン

本書は基本的に「**a.** YW-2を接続したパソコン」と本機を接続する場合の操作説明のみを行います。

ご注意

上記の条件を満たすすべてのパソコンが、本機(YW-2装着時)と無線LANで接続可能であることを保証するものではありません。

本機と無線LANで接続するパソコンの準備

ここでの操作を行う前に、あらかじめ次の手順でパソコンの準備作業を済ませておいてください。

YW-2を使う場合

1 **本機に付属のCD-ROMから「Wireless Connection」をパソコンにインストールする。**

- 詳しくは「ソフトウェアのインストール」（10ページ）を参照してください。

2 **パソコンのUSB端子にYW-2を接続する。**

YW-2以外の無線LANアダプター（パソコンに内蔵の無線LAN機能を含む）を使う場合

1 **IEEE 802.11b規格に準拠した無線LAN機能を備えたパソコン（「本機と無線LANで接続することが可能なパソコンについて」のb.またはc.に該当するパソコン）を用意する。**

2 **本機に付属のCD-ROMから「Wireless Connection」をパソコンにインストールする。**

- 詳しくは「ソフトウェアのインストール」（10ページ）を参照してください。

本機の無線LAN機能について

ワイヤレスとWireless Connectionについて

「ワイヤレス」は本機が内蔵している機能の1つです。本機とパソコンを無線LAN接続するための本機側の設定や、接続後の本機に対する各種操作(例えば接続情報の表示や、本機と複数のパソコンを同時に無線LAN接続したときの投映対象パソコンの切替など)を受け持ちます。弊社製の無線アダプターYW-2を本機のUSB端子に接続すると、自動的にワイヤレスが起動します。

「Wireless Connection」はWindowsパソコン上で動作するソフトウェアです。本機とパソコンを無線LAN接続するためのパソコン側の設定や、接続後にパソコンのディスプレイ内容を本機に送信する操作などを受け持ちます。またWireless Connectionからは、本機に対する詳細な無線LAN接続設定を行うための「Web設定」ページ(61ページの「無線LAN接続の詳細設定」も参照)を呼び出すことができます。

本機の接続プロファイル(簡単接続と手動接続)について

無線LAN接続を行うための設定1セット分のことを、「接続プロファイル」と呼びます。本機には、あらかじめ次の接続プロファイルが用意されています。

接続プロファイル	初期プロファイル名	解説
簡単接続1	−	これらの接続プロファイルは、主に弊社製の無線アダプターYW-2を接続した1台のパソコンと本機の無線LAN接続を簡単に行うために用意されています。設定は固定されており、変更することはできません。
簡単接続2	−	
簡単接続3	−	
手動接続1	Sample 1	これらの接続プロファイルは、主に複数のパソコンと本機を同時に無線LAN接続するために用意されています。各接続プロファイルの初期設定をそのまま使って無線LAN接続を構成できます。また、設定を変更してセキュリティを強化したり、プロファイル名を変更することも可能です。
手動接続2	Sample 2	
手動接続3	Sample 3	

本機の接続プロファイルはワイヤレスを使って切り替えることができます。また、Wireless Connectionはワイヤレスの「簡単接続1」〜「簡単接続3」と同じ接続プロファイルをあらかじめ持っているので、ワイヤレスとWireless Connectionの双方で同じ接続プロファイルを選ぶだけで、無線LAN接続を確立することが可能です(パソコンにYW-2を接続した場合に限ります)。

本機とパソコンを無線LAN接続する方法について

本機とパソコンをどのような形態で接続したいかによって、接続方法は変わります。特に、接続プロファイルとして「簡単接続」と「手動接続」のどちらを使うか、「手動接続」を使う場合には接続プロファイルの中身をどのように設定するかが重要になります。

■ 本機とパソコンを１対１で無線LAN接続したい

「簡単接続」で接続します。本機で「簡単接続1」を選んだ場合はパソコン側でも「簡単接続1」、本機で「簡単接続2」を選んだ場合はパソコン側でも「簡単接続2」を選びます。

なお、1対1で無線LAN接続したい本機とパソコンが複数組ある場合は、それぞれの組の間で「簡単接続1」「簡単接続2」「簡単接続3」を使い分けることが必要です。例えばパソコンAとプロジェクターAは「簡単接続1」で接続し、パソコンBとプロジェクターBは「簡単接続3」で接続します。

設定の操作については「本機と1台のパソコンを「簡単接続」を使って無線LAN接続する」(49ページ)を参照してください。

■ 本機1台と複数台(最大４台)のパソコンを直接無線LAN接続したい

「手動接続」のアドホックモード(77ページ参照)で接続します。本機とパソコンの接続プロファイルの内容が一致するように設定することが必要です。ただし、IPアドレスだけは重複しないようにします。

設定の操作については「本機と複数のパソコンを「手動接続」を使って無線LAN接続する」(52ページ)を参照してください。

■ 既存のワイヤレスネットワークを介して本機とパソコンを無線LAN接続したい

「手動接続」のアクセスポイントモード(77ページ参照)で接続します。接続設定を行うにあたって、ネットワーク接続についての知識が必要です。

設定の操作については「パソコンの接続プロファイルを新規作成するには」(71ページ)を参照してください。また接続設定に関する補足情報を、弊社のホームページ(http://casio.jp/support/projector/)でもご覧いただけます。

■ ノートパソコン内蔵の無線機能を使って本機とパソコンを無線LAN接続したい

「手動接続」で接続します。接続設定を行うにあたって、ネットワーク接続についての知識が必要です。設定の操作や補足情報を、弊社のホームページ(http://casio.jp/support/projector/)でご覧いただけます。

無線LAN接続の基本設定

本機とパソコンを無線LANで接続するための基本的な設定操作を説明します。

- ここでは、本機と1台のパソコンまたは本機と複数台のパソコンを無線LAN接続するための、もっとも基本的な設定操作を説明します。セキュリティの強化や無線LANアクセスポイントに接続するための設定など、より詳しい設定の操作については、「無線LAN接続の詳細設定」(61ページ)を参照してください。
- 接続が確立した後の投映操作について詳しくは、「無線LANを使って投映する」(84ページ)を参照してください。

重要

ここで説明する操作は、パソコンに弊社製無線LANアダプターYW-2を接続することが前提です。他社製無線LANアダプターを接続したパソコン、または無線LAN機能を内蔵したパソコンをご使用の場合は、ご使用の製品に付属の説明書をご覧になり、設定を行ってください。

本機と1台のパソコンを「簡単接続」を使って無線LAN接続する

パソコン1台と本機を無線LAN接続するには

メモ

ここではもっとも簡単な接続の操作例として、本機があらかじめ持っている「簡単接続1」という名前の接続プロファイルを使って、本機と1台のパソコンを無線LAN接続する設定を行います。

1 **付属のACアダプターを本機のACアダプター端子に接続し、ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続する。**

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 本機の[POWER]インジケーターが緑色に点灯し、接続されているプロジェクターから本機のロゴ画面が投映されます。

2 **無線アダプターYW-2を、本機のUSB端子に接続する。**

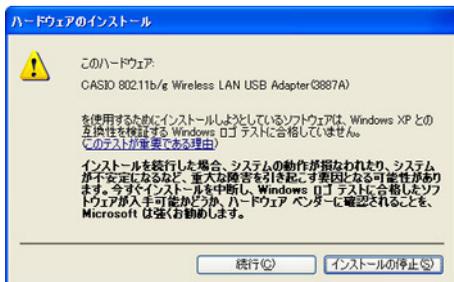
- 無線アダプターを本機に接続した状態で、本機の電源を入れても構いません。
- 本機がYW-2を認識すると自動的に「ワイヤレス」が起動し、投映画面に次のようなメッセージが表示されます。

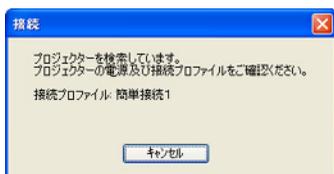
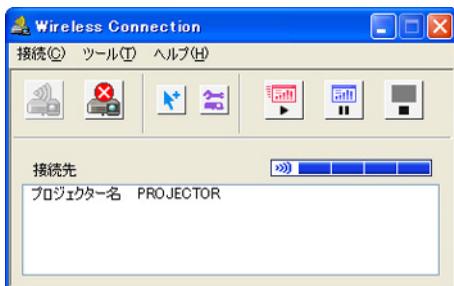
3 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

4 お使いのパソコンにすでに「ネットワーク接続」がある場合は、無効にする。

- [コントロールパネル]の[ネットワーク接続](Windows 2000の場合は[ネットワークとダイヤルアップ接続])をクリックします。表示されるウィンドウ内に「ローカルエリア接続」、「ワイヤレスネットワーク接続」または「ネットワークブリッジ」がある場合はそのアイコンを右クリックして、「無効にする」をクリックしてください。

5 パソコンのUSB端子に、無線アダプターYW-2を接続する。

- 初めて無線アダプターを接続したときに、次の警告メッセージが表示された場合には、[続行]ボタンをクリックしてください。

6 デスクトップ上のアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから[すべてのプログラム] - [CASIO] - [Wireless Connection]を選択して、Wireless Connectionを起動する。

- 次のダイアログが表示されます。

- パソコンが本機を見つけると、パソコンと本機の間での通信が開始されます。
- 本機とパソコンが自動的に無線LANで接続され、次のようなWireless Connectionウィンドウがパソコンのディスプレイに表示されます。

- パソコンのディスプレイ内容が、自動的に投映画面に表示されます。
- 接続後のWireless Connectionウィンドウを使った操作や、本機のリモコンを使った操作については、「無線LANを使って投映する」(84ページ)を参照してください。

メモ

お使いのパソコンにセキュリティソフトが導入されている場合、「Wireless Connection.exeがインターネットにアクセスしようとしています」のような警告メッセージが表示されることがあります。このような場合は「常に(アクセスを)許可する」を選択してください。

7 Wireless Connectionの操作を終了するには、Wireless Connectionウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックするか、[接続] - [終了]を選ぶ。

- Wireless Connectionウィンドウが閉じ、パソコンと本機の接続が切断されます。このとき、投映画面に手順2と同じメッセージが再び表示されます。

ご注意

初回の設定時に使った接続プロファイル(この操作例では「簡単接続1」)以外の接続プロファイルが本機で選択されている場合は、上記の操作を行っても無線LAN接続は行われません。このような場合は本機のリモコンの[□]キーを押して「接続プロファイル」メニューを表示し、「簡単接続1」を選択してください。詳しくは「本機の接続プロファイルを切り替えるには」(65ページ)を参照してください。

本機と複数のパソコンを「手動接続」を使って無線LAN接続する

本機1台に対して4台のパソコンを(無線LANアクセスポイントを介さずに)同時に無線LAN接続する場合の操作を説明します。次の①～④すべての操作を、順番に行ってください。

「①本機と複数のパソコンを無線LAN接続するための準備」

「②パソコン側の接続プロファイルを作成するには」(52ページ)

「③1台目のパソコンと本機を「手動接続」を使って無線LAN接続するには」(54ページ)

「④2台目以降のパソコンと本機を「手動接続」を使って無線LAN接続するには」(59ページ)

①本機と複数のパソコンを無線LAN接続するための準備

- 4台のパソコンすべてに、「Wireless Connection」をインストールします。
- YW-2 を4つ用意し、1台のパソコンに1つのYW-2を各パソコンのUSB端子に接続します。

②パソコン側の接続プロファイルを作成するには

1 1台目のパソコン上でWireless Connectionを起動する。

- Wireless Connectionは、USB端子にYW-2を接続すると、自動的に起動します。Wireless Connectionが起動していない場合は、スタートメニューから[すべてのプログラム]－[CASIO]－[Wireless Connection]を選択してください。

2 1台目のパソコンのWireless Connectionウィンドウで[接続] - [接続プロファイルの切替]を選ぶ。

- 「接続プロファイルの切替」ダイアログが表示されます。

3 [新規作成]をクリックする。

- 「手動接続の設定」ダイアログが表示されます。

4 「手動接続の設定」ダイアログ上で、各設定項目に対する設定値の入力や選択肢からの選択を行う。

- ここでは例として、各項目を下記のように設定します。

設定項目	設定値
プロファイル名	手動接続テスト
SSID	CASIO_DPJ
アクセス方式	アドホックモード
セキュリティ設定	WEP
WEPキー形式	ASCII/128bit
WEPキー/WPA/WPA2パスフレーズ	1234567890abc
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.100.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
チャンネル	自動

- 個別の設定項目の意味や、設定項目ごとの入力値（または選択肢）について詳しくは、「手動接続の設定項目詳細」（76ページ）を参照してください。

5 すべての設定項目の変更が済んだら、[登録]ボタンをクリックする。

6 「確認」ダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックする。

- 設定内容が新規の接続プロファイルとして登録され、「接続プロファイルの切替」ダイアログに戻ります。このとき、新規作成した接続プロファイル「手動接続テスト」が選択された状態となります。

7 2台目以降のパソコンについても、手順1～手順5と同じ操作を行う。

- IPアドレスの設定だけは、パソコンごとに次のように設定を変えてください。
  パソコン2：192.168.100.10
  パソコン3：192.168.100.11
  パソコン4：192.168.100.12

③1台目のパソコンと本機を「手動接続」を使って無線LAN接続するには

メモ

「②パソコン側の接続プロファイルを作成するには」(52ページ)の操作を行って、パソコンの画面に「接続プロファイルの切替」ダイアログが表示された状態から引き続き、次の操作を行ってください。

1 **1台目のパソコンと本機を「簡単接続」を使って無線LAN接続する。**

- 簡単接続のしかたについては、49ページの「本機と1台のパソコンを「簡単接続」を使って無線LAN接続する」をご覧ください。
- すでに「簡単接続」を使って接続されている場合は、次の手順にお進みください。

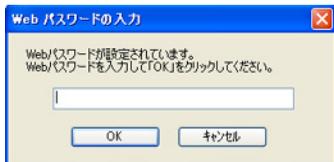
2 **1台目のパソコンのWireless Connectionウィンドウで[接続]-[接続プロファイルの切替]を選び、「接続プロファイルの切替」ダイアログを表示する。**

3 **「プロファイル名」欄の▼をクリックし、表示されるドロップダウンリストから「手動接続テスト」を選ぶ。**

4 **[設定値の送信]ボタンをクリックする。**

- 「設定値の送信」ダイアログが表示されます。

5 **「送信先」として「手動接続1」を選択し、[OK]ボタンをクリックする。**

- パスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

- ここではWeb設定(61ページ参照)にログインする際のパスワードを入力します。パスワードの初期値は「casio」です。

6 パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする。

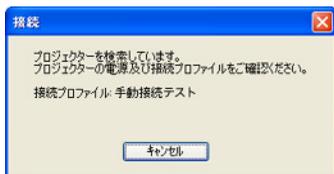
7 表示されるダイアログで、順次[OK]ボタンをクリックする。

- 「上書きしますか？」というダイアログで[OK]ボタンをクリックした時点で、1台目のパソコンから本機への設定値の送信が実行されます。このとき、手順3で選択したパソコン上の接続プロファイル「手動接続テスト」の設定情報によって、本機の「手動接続1」の内容が上書きされます。ただし本機のIPアドレスは、パソコン側の設定値に1を加えた値となります。

8 「設定値の送信」ダイアログに戻ったら、[キャンセル]ボタンをクリックする。

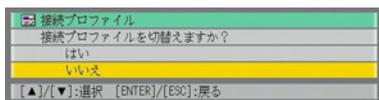
- 「接続プロファイルの切替」ダイアログに戻ります。

9 [閉じる]ボタンをクリックする。

- 次のダイアログが表示されます。

10 ここで、本機のリモコンの[□]キーを押す。

- 投映画面に「接続プロファイル」メニューが表示されます。

11 [▼]キーを使って「手動接続1」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。

- 次のような確認ダイアログが表示されます。

12 [▲]キーを押して「はい」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。

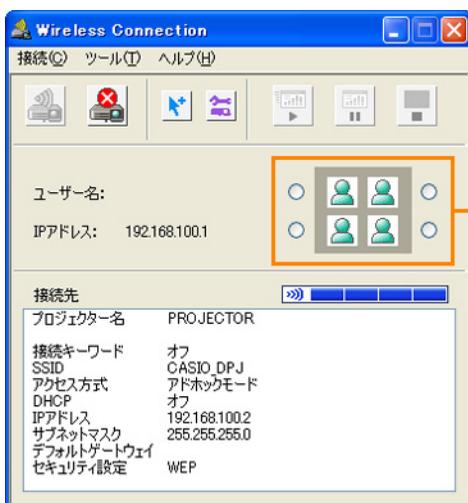
- 投映画面に次のようなメッセージが表示されます。

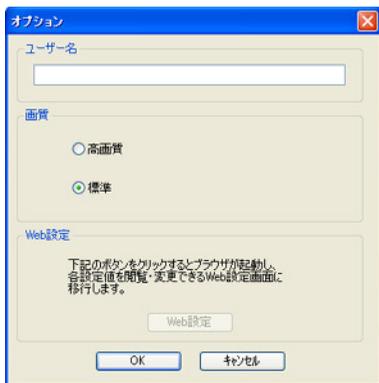
13 ここで、パソコンの画面に表示されるメッセージを確認する。

● パソコンが本機を見つけると、次のような「接続先の選択」ダイアログに切り替わります。

近くに無線アダプターを接続したYP-100(またはXJ-S35)が複数台設置されている場合は、検索されたすべてのYP-100(およびXJ-S35)が一覧表示されます。

14 接続先として指定したいYP-100を反転表示させ、[OK]ボタンをクリックする。

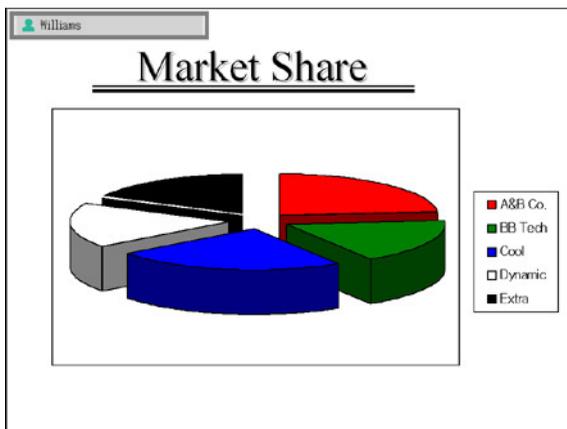
● パソコンと本機が接続され、上記のダイアログが閉じます。Wireless Connectionウィンドウに表示される接続先情報の「接続プロファイル」が「手動接続1(手動接続テスト)」になっているのをご確認ください。

15 **Wireless Connectionウィンドウで[ツール] - [オプション]を選ぶ。**

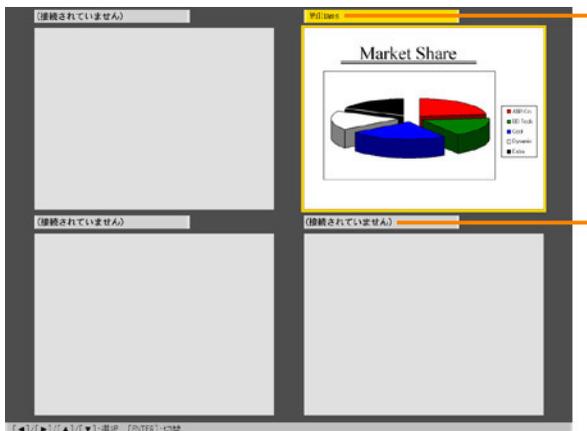
- 「オプション」ダイアログが表示されます。

16 **「ユーザー名」の入力欄に、設定中のパソコンに対するユーザー名(このパソコンのディスプレイ内容を本機で投映したときに投映画面に表示したい名前)を入力する。**

- ユーザー名は半角／全角10文字以内で入力することができます。

17 **[OK]ボタンをクリックする。**

18 **パソコン上でWireless Connectionウィンドウの投映位置選択ボタンのいずれか1つをクリックして選択し、ボタンをクリックする。**

- パソコンのディスプレイ内容が、投映画面全体に表示されます。このとき、登録されているユーザー名が、投映画面の左上に表示されます。

19 本機のリモコンの[○]キーを押す。

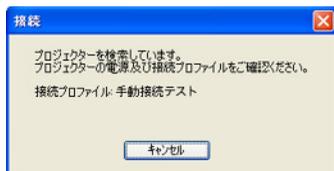
- 次のようなユーザーリスト表示に切り替わります。ユーザーリスト表示を使うと、本機に同時接続しているどのパソコンのディスプレイ内容を投映画面全体に表示するかを切り替えることができます。投映位置選択ボタンは、ユーザーリスト表示上の表示位置と対応しています。

④2台目以降のパソコンと本機を「手動接続」を使って無線LAN接続するには

メモ

次の操作は、「②パソコン側の接続プロファイルを作成するには」(52ページ)および「③1台目のパソコンと本機を「手動接続」を使って無線LAN接続するには」(54ページ)の操作に引き続き行ってください。

1 **2台目のパソコンの「接続プロファイルの切替」ダイアログで「プロファイル名」欄の▼をクリックし、表示されるドロップダウンリストから「手動接続テスト」を選ぶ。**

2 **[閉じる]ボタンをクリックする。**

- 次のダイアログが表示されます。

- パソコンが本機を見つけると、次のような「接続先の選択」ダイアログに切り替わります。

3 **接続先として指定したいYP-100を反転表示させ、[OK]ボタンをクリックする。**

- パソコンと本機が接続され、上記のダイアログが閉じます。Wireless Connectionウィンドウに表示される接続先情報の「接続プロファイル」が「手動接続1(手動接続テスト)」になっているのをご確認ください。

4 **Wireless Connectionウィンドウで[ツール] - [オプション]を選ぶ。**

- 「オプション」ダイアログが表示されます。

5 **「ユーザー名」の入力欄に、設定中のパソコンに対するユーザー名(このパソコンのディスプレイ内容を本機で投映したときに投映画面に表示したい名前)を入力する。**

- ユーザー名は半角/全角10文字以内で入力することができます。

6 **[OK]ボタンをクリックする。**

7 パソコン上でWireless Connectionウィンドウの投映位置選択ボタンのいずれか1つをクリックして選択し、ボタンをクリックする。

- 投映位置選択ボタンのうち、すでに他のユーザーが使用中のものは、アイコンが「」から「」に変わります。アイコンが「」のものの中から選んでください。
- 2台目のパソコンのディスプレイ内容が、投映位置選択ボタンで選択した位置に表示されます。

8 3台目と4台目のパソコンについても、手順1～手順7の操作を行う。

- 3台目と4台目のパソコンのディスプレイ内容が、投映位置選択ボタンで選択した位置にそれぞれ表示されます。

9 特定のパソコンのディスプレイ内容を投映画面全体に表示するには、本機のリモコンの[▼] [▲] [▶] [◀]キーを使って希望するユーザー名を反転表示させ、[ENTER]キー（または[○]キー）を押す。

- 反転表示させたユーザー名のパソコンのディスプレイ内容が、投映画面全体に表示されます。
- 接続後のWireless Connectionウィンドウを使った操作や、本機のリモコンを使った操作については、「無線LANを使って投映する」（84ページ）を参照してください。

無線LAN接続の詳細設定

ここでは本機とパソコンの無線LAN接続を手動で詳細に設定する操作について説明します。

- ここで行う操作は、「無線LAN接続の基本設定」(49ページ)で行った設定作業が前提となります。
- 接続が確立した後の投映操作について詳しくは、「無線LANを使って投映する」(84ページ)を参照してください。

Web設定について

本機の手動接続の設定内容を変更したり、その他本機の詳細設定を行うには、「Web設定」という専用ページをパソコンから呼び出すことが必要です。Web設定は、本機と無線LAN接続しているパソコンのWebブラウザを使って表示します。

Web設定ページを表示するには(Web設定にログインするには)

1 **本機とパソコンを無線LANで接続する。**

- 「簡単接続」のしかたについては、49ページの「本機と1台のパソコンを「簡単接続」を使って無線LAN接続する」をご覧ください。
- すでに「簡単接続」を使って接続されている場合は、次の手順にお進みください。

2 **パソコンのWireless Connectionウィンドウで、ボタンをクリックする。**

- お使いのパソコンの既定のブラウザが起動し、次のような初期ページが表示されます。

- すでにブラウザが起動していると、Web設定ページが表示されないことがあります。このような場合は、いったんブラウザを終了させてから、再度ボタンをクリックしてください。

3 パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする。

- パスワードの初期値は「casio」です。
- 次のようなWeb設定のトップページが表示されます。

メモ

- セキュリティ上、パスワードは必ず変更してください。詳しくは「Web設定のログインパスワードを変更するには」(62ページ)を参照してください。
- Web設定ページは、Wireless Connectionウィンドウで[ツール] - [オプション]を選ぶと表示される「オプション」ダイアログで[Web設定]ボタンをクリックして表示することも可能です。

Web設定からログアウトするには

ページ右上の「ログアウト」をクリックします。

メモ

Web設定ページの表示中に何も操作を行わずに5分が経過すると、自動的にログアウトします。

Web設定のログインパスワードを変更するには

1 Web設定の初期ページで[パスワードの変更]ボタンをクリックする。

- パスワードの変更ページが表示されます。

2 「現在のパスワード」欄に現在のパスワード(初期設定を変更していない場合は「casio」)、「新しいパスワード」欄に新しく設定したいパスワードを入力する。

- パスワードは、半角英数字4文字以上16文字以内で入力してください。

3 **一番下の入力欄に、「新しいパスワード」欄に入力したパスワードを再入力する。**

4 **[更新]ボタンをクリックする。**

- 入力内容に誤りがなければパスワードが更新され、Web設定のトップページが表示されます。

Web設定の有効／無効の切り替えについて

本機の操作によって、パソコンからWeb設定ページを呼び出せないようにすることができます。複数ユーザーが本機に接続しており、Web設定へのアクセスを制限したいときなどにご利用ください。

Web設定の有効・無効を切り替えるには

1 **ワイヤレスが投映画面に表示されているときに、本機のリモコンの[MENU]キーを押す。**

- **ワイヤレス**設定メニューが表示されます。

2 **[▼]キーを使って「Web設定」を反転表示させる。**

3 **[▶]または[◀]キーを使って、「有効」または「無効」のいずれかを選ぶ。**

- 「無効」を選ぶと、パソコンからWeb設定ページを呼び出すことができなくなります。

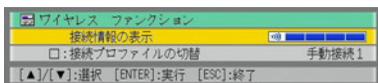
4 **設定を終了してワイヤレス設定メニューを消すには、[ESC]キーを押す。**

本機の接続プロファイルの切り替えについて

本機がパソコンと無線LAN接続を行うときは、本機が持っている6つの接続プロファイルのうちのいずれか1つを使います。現在使っている接続プロファイルとは異なる接続プロファイルを使って無線LAN接続を行いたい場合には、本機の接続プロファイルを切り替えてください。

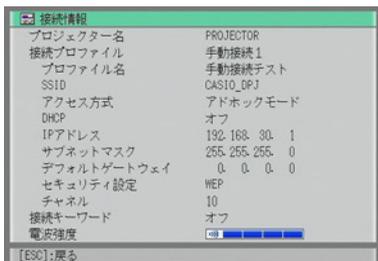
本機の現在の接続プロファイル情報を確認するには（接続情報ウィンドウを表示するには）

1 **ワイヤレスが投映画面に表示されているときに、本機のリモコンの[FUNC]キーを押す。**

- ワイヤレスファンクションメニューが表示されます。

- ワイヤレスファンクションメニューの内容は、[FUNC]キーを押したときの状態によって異なります（上のメニューは「接続待機中」メッセージの表示中に[FUNC]キーを押した場合）。

2 **「接続情報の表示」が反転表示しているのを確認し、[ENTER]キーを押す。**

- 接続情報ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、現在選択されている接続プロファイルと、その接続プロファイルの設定情報を確認できます。

（簡単接続の場合）

（手動接続の場合）

3 **接続情報ウィンドウを閉じるには、本機のリモコンの[ESC]キーを押す。**

メモ

本機の現在の接続プロファイル情報は、Web設定のトップページでも確認することができます。「Web設定ページを表示するには（Web設定にログインするには）」（61ページ）を参照してください。

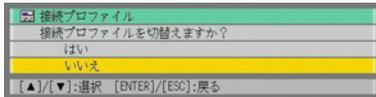
本機の接続プロファイルを切り替えるには

1 **本機のリモコンの[□]キーを押す。**

- 投映画面に「接続プロファイル」メニューが表示されます。

現在選択されている接続プロファイルが反転表示しています。

2 **[▼]または[▲]キーを使って希望する接続プロファイルを反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 次のような確認ダイアログが表示されます。

3 **[▲]キーを押して「はい」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 本機の接続プロファイルが、手順2で反転表示させたものに切り替わり、「接続待機中」メッセージが表示されます。

Web設定を使ってパソコンからの操作で本機の接続プロファイルを切り替えるには

ご注意

次の操作を行うと、現在本機とパソコンの間で確立している無線LAN接続は、切断されます。再度接続を行うには、切り替え後の本機の接続プロファイルに合わせて、パソコン側の無線LAN接続設定を行ってください。

1 **「Web設定ページを表示するには（Web設定にログインするには）」（61ページ）の操作を行い、Web設定のトップページを表示する。**

2 **「接続プロファイル」エリアの入力ボックスの▼ボタンをクリックし、表示されるドロップダウンリストから希望する接続プロファイルを選択する。**

3 **[切替]ボタンをクリックする。**

- Web設定ページ上に、次のメッセージが表示されます。

接続プロファイルが変更されました。 PC 側の設定も切替えて再接続してください。

4 **[OK]ボタンをクリックする。**

- 本機の接続プロファイルが手順2の選択に従って切り替わり、本機とパソコンの間の無線LAN接続が切断されます。本機の投映画面に「接続待機中」メッセージが表示され、メッセージ上に切り替え後の接続プロファイル名が表示されます。

本機のプロジェクター名について

Web設定からの操作で、本機1台ごとに固有の名前を付けることができます。本機を複数台使う場合の識別に便利です。ここで付けたプロジェクター名は、次の場所に表示されます。

- ワイヤレスの接続待機中メッセージ上の「プロジェクター名」欄
- ワイヤレスの接続情報ウィンドウ（64ページ）の「プロジェクター名」欄
- Wireless Connectionウィンドウ（50ページ）の「プロジェクター名」欄
- 接続プロファイルとして手動接続が選択されている本機にパソコンから接続する際の「接続先の選択」ダイアログ（56ページ）の「プロジェクター名」欄

本機にプロジェクター名を付けるには

1 **「Web設定ページを表示するには（Web設定にログインするには）」（61ページ）の操作を行い、Web設定のトップページを表示する。**

2 **「プロジェクターの設定」エリアの[編集]ボタンをクリックする。**

- 「プロジェクターの設定」ページが表示されます。

3 **「プロジェクター名」欄に全角／半角英数字12文字以内の名前を入力する。**

4 **[保存]ボタンをクリックする。**

メモ

「プロジェクターの設定」ページでは、接続キーワード（次項を参照）も同時に設定することができます。

本機の接続キーワードについて

接続キーワードは、複数のパソコンを本機に無線LAN接続できるように設定したとき(手動接続時)のための、本機への不正アクセスを防ぐための機能です。パソコンから本機に無線LAN接続をしようとするときに、設定されている接続キーワードをパソコンから入力させるか、させないかの設定(接続キーワードのオン／オフの切り替え)、および接続キーワードの登録(変更)を行うことができます。接続キーワードのオン／オフの切り替えはWeb設定またはワイヤレスの設定メニューを使って行います。キーワードの登録(変更)は、Web設定を使って行います。

接続キーワードを変更するには

1 **「Web設定ページを表示するには(Web設定にログインするには)」(61ページ)の操作を行い、Web設定のトップページを表示する。**

2 **「プロジェクターの設定」エリアの[編集]ボタンをクリックする。**

- 「プロジェクターの設定」ページが表示されます。

3 **「接続キーワード」欄に半角英数字(半角記号も可)16文字以内の文字列を入力する。**

4 **パソコンから本機への無線LAN接続時に接続キーワードを入力させるには「オン」を選択し、入力させない場合は「オフ」を選択する。**

5 **[保存]ボタンをクリックする。**

接続キーワードのオン／オフを本機の操作で切り替えるには

1 **ワイヤレスが投映画面に表示されているときに、本機のリモコンの[MENU]キーを押す。**

- **ワイヤレス**設定メニューが表示され、「接続キーワード」が反転表示した状態になります。

2 **[▶]または[◀]キーを使って、「オン」または「オフ」のいずれかを選ぶ。**

- 「オン」を選ぶと、パソコンから本機への接続時に接続キーワードの入力が必要となります。

3 **設定を終了してワイヤレス設定メニューを消すには、[ESC]キーを押す。**

本機の接続キーワード設定がオンのときにパソコンから本機への無線LAN接続を行うには

1 **パソコンから本機への接続操作を行う。**

- 「本機と複数のパソコンを「手動接続」を使って無線LAN接続する」(52ページ)の操作を行ってください。

2 **Wireless Connectionウィンドウで、ボタンをクリックする。**

- 「接続キーワードの入力」ダイアログが表示されます。

3 **本機に設定されている接続キーワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

- 入力した接続キーワードが正しい場合は本機とパソコンの無線LAN接続が確立し、パソコンのディスプレイ内容が本機に送信されます。
- 入力した接続キーワードが本機に設定されている接続キーワードと合致しない場合は、入力した接続キーワードがクリアされます。接続キーワードを入力し直してください。
- 間違った接続キーワードを続けて3回入力すると、エラーダイアログを閉じても「接続キーワードの入力」ダイアログは表示されません。ボタンをクリックすると、再度「接続キーワードの入力」ダイアログが表示されます。

本機の手動接続の設定を変更する

例えば次のような場合には、本機の手動接続の設定を変更して対応することができます。

- ご使用の無線LANアクセスポイントにすでに設定されている情報に合わせて、本機の設定を行いたい場合
- 初期設定を変更してセキュリティを強化したい場合
- 固定IPアドレスを使って無線LAN接続を行いたい場合
- 他社製の無線LANアダプターを使用する場合や、パソコン内蔵の無線LANアダプターを使用する場合

手動接続の設定を変更するには、Web設定を使います。

本機の手動接続設定を変更するには

ご注意

次の操作によって、現在本機と下記操作を行っているパソコンが無線LAN接続に使用している接続プロファイルを変更すると、現在本機とパソコンの間で確立している無線LAN接続は切断されます。再度接続を行うには、切り替え後の本機の接続プロファイルに合わせて、パソコン側の無線LAN接続設定を行ってください。

1 **「Web設定ページを表示するには(Web設定にログインするには)」(61ページ)の操作を行い、Web設定のトップページを表示する。**

2 **「接続プロファイルの設定」エリアの[編集]ボタンをクリックする。**

- 「接続プロファイルの設定」ページが表示されます。

3 **「手動接続1」～「手動接続3」のいずれかのタブをクリックし、設定を変更したい接続プロファイルを表示する。**

4 **ページ上の各項目の設定を行う。**

- 個別の設定項目の意味や、設定項目ごとの入力値(または選択肢)について詳しくは、「手動接続の設定項目詳細」(76ページ)を参照してください。

5 **設定を保存するには、[保存]ボタンをクリックする。**

- 「設定が保存されました。」というメッセージが表示されます。
- もし設定に不備がある場合は、「入力項目に不備があります。」というメッセージが表示されます。この場合はページ左下の「戻る」をクリックして「接続プロファイルの設定」ページに戻り、各項目の設定内容を再確認してください。再確認を行う際には、「手動接続の設定項目詳細」(76ページ)の説明を参照してください。

メモ

設定を変更した接続プロファイル(手動接続1～手動接続3のいずれか)を無線LAN接続に使うには、その接続プロファイルへの切り替えを行うことが必要です(使用中の接続プロファイルの設定を変更した場合を除く)。詳しくは、「本機の接続プロファイルを切り替えるには」(65ページ)を参照してください。

パソコンの接続プロファイルを作成する

本機の手動接続の設定を変更したら、パソコン側でもその設定変更に合わせて既存の無線LAN接続設定（接続プロファイル）を変更するか、新規の接続プロファイルを作成することが必要です。ここでは、弊社製無線アダプターYW-2を接続したパソコンの接続プロファイルを、Wireless Connectionを使って新規作成または変更する操作について説明します。

ご注意

他社製の無線LANアダプターを使用する場合や、パソコン内蔵の無線LANアダプターを使用する場合のパソコン側の無線LAN接続設定については、ご使用の無線LANアダプターやパソコンに付属の説明書をお読みください。

パソコンの接続プロファイルを新規作成するには

メモ

ここでは例として、本機の接続プロファイル「手動接続3」の設定を変更した後で、その変更に合わせてパソコンの接続プロファイルを新規作成する操作を説明します。本機のプロジェクター名（67ページ参照）は「プロジェクターA」とします。

1 **「本機の手動接続設定を変更するには」（70ページ）の操作を行い、本機の「手動接続3」の設定を次のように変更する。**

設定項目	設定値
プロファイル名	B会議室
SSID	ROOM_B
アクセス方式	アクセスポイントモード
セキュリティ設定	WPA-PSK
WPA/WPA2暗号形式	TKIP
WEPキー/WPA/WPA2パスフレーズ	1234567890abc
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.10.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	（無線LANアクセスポイントの設定に合わせます。）
チャンネル	自動

- 上記の設定値は一例です。「アクセスポイントモード」を用いて無線LAN接続する場合、実際にはアクセスポイントに合わせた設定を行うことが必要となります。ただし、本機（および本機と無線LAN接続するパソコン）のIPアドレスの値は、アクセスポイントのIPアドレスをはじめ同一ネットワーク内の既存のIPアドレスと重複しないようにご注意ください。
- 個別の設定項目の意味や、設定項目ごとの入力値（または選択肢）について詳しくは、「手動接続の設定項目詳細」（76ページ）を参照してください。

2 「本機の接続プロファイルを切り替えるには」(65ページ)の操作を行い、本機の接続プロファイルを「手動接続3」に切り替える。

- 投映画面に「接続待機中」メッセージが表示されます。接続プロファイルが「手動接続3」になっているのをご確認ください。

3 Wireless Connectionウィンドウで[接続] - [接続プロファイルの切替]を選択する。

- 「接続プロファイルの切替」ダイアログが表示されます。

4 [新規作成]をクリックする。

- 「手動接続の設定」ダイアログが表示されます。

5 「手動接続の設定」ダイアログ上で、手順1で本機の「手動接続3」に対して行った設定と同じように、各設定項目に対する設定値の入力や選択肢からの選択を行う。

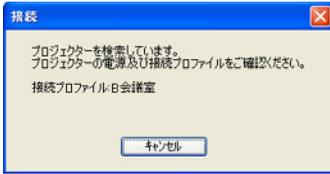
- IPアドレスは、手順1で本機に設定したIPアドレスやアクセスポイントのIPアドレス、その他同一ネットワーク内の既存のIPアドレスと重複しないように設定してください。
- 個別の設定項目の意味や、設定項目ごとの入力値(または選択肢)について詳しくは、「手動接続の設定項目詳細」(76ページ)を参照してください。

6 すべての設定項目の変更が済んだら、[登録]ボタンをクリックする。

7 「確認」ダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックする。

- 設定内容が新規の接続プロファイルとして登録され、「接続プロファイルの切替」ダイアログに戻ります。

8 [閉じる]ボタンをクリックする。

● 「接続プロファイルの切替」ダイアログが閉じて、次のダイアログが表示されます。

● パソコンが本機を見つけると「接続先の選択」ダイアログに切り替わります。

9 プロジェクター名「プロジェクターA」を反転させ、[OK]ボタンをクリックする。

● パソコンと本機の間の無線LAN接続が確立します。

● 「接続先の選択」ダイアログが閉じてパソコンのディスプレイにWireless Connectionウィンドウが表示されます。

10 Wireless Connectionウィンドウの投映位置選択ボタンのいずれか1つをクリックして選択し、ボタンをクリックする。

● パソコンのディスプレイ内容が、投映画面全体に表示されます。

● 接続後のWireless Connectionウィンドウを使った操作や、本機のリモコンを使った操作については、「無線LANを使って投映する」(84ページ)を参照してください。

パソコンの既存の接続プロファイルを変更するには

1 **スタートメニューから[すべてのプログラム] - [CASIO] - [Wireless Connection]を選択し、Wireless Connectionウィンドウを表示する。**

- すでにWireless Connectionウィンドウが表示されている場合は、この操作は不要です。

2 **Wireless Connectionウィンドウで[接続] - [接続プロファイルの切替]を選択する。**

- 「接続プロファイルの切替」ダイアログが表示されます。

3 **「プロファイル名」欄の▼をクリックし、表示されるドロップダウンリストから設定を変更したい接続プロファイルを選ぶ。**

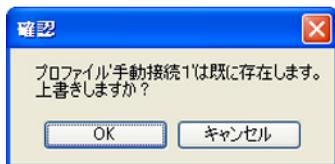
4 **[設定変更]ボタンをクリックする。**

- 「手動接続の設定」ダイアログが表示されます。

5 **「手動接続の設定」ダイアログ上で、設定項目の中の必要な個所を変更する。**

- 個別の設定項目の意味や、設定項目ごとの入力値(または選択肢)について詳しくは、「手動接続の設定項目詳細」(76ページ)を参照してください。

6 **すべての設定項目の変更が済んだら、[登録]ボタンをクリックする。**

- 次のダイアログが表示されます。

7 **[OK]ボタンをクリックする。**

- 手順5で選択した手動接続に対して変更した設定内容が登録され、「接続プロファイルの切替」ダイアログに戻ります。

パソコンの接続プロファイルを削除する

Wireless Connectionを使って作成したパソコン側の接続プロファイルは、不要になったら削除することができます。Wireless Connectionがあらかじめ持っている接続プロファイルの「手動接続1」～「手動接続3」も、削除可能です。

パソコンの接続プロファイルを削除するには

1 **スタートメニューから[すべてのプログラム] - [CASIO] - [Wireless Connection]を選択し、Wireless Connectionウィンドウを表示する。**

- すでにWireless Connectionウィンドウが表示されている場合は、この操作は不要です。

2 **Wireless Connectionウィンドウで[接続] - [接続プロファイルの切替]を選択する。**

- 「接続プロファイルの切替」ダイアログが表示されます。

3 **「プロファイル名」欄の▼をクリックし、表示されるドロップダウンリストから削除したい接続プロファイルを選ぶ。**

4 **[削除]ボタンをクリックする。**

5 **「接続プロファイルの切替」ダイアログを閉じるには、[閉じる]ボタンをクリックする。**
- Wireless Connectionウィンドウに戻ります。

投映画面に表示するためのパソコンのユーザー名を登録する

ユーザー名とは、本機と複数のパソコンを同時に無線LAN接続したときに、それぞれのパソコンを投映画面上で識別するために付ける名前です。登録したユーザー名が、投映画面に表示されます。パソコンごとのユーザー名の登録操作は、Wireless Connectionを使って行います。

パソコンのユーザー名を登録するには

1 **Wireless Connectionウィンドウで[ツール] - [オプション]を選ぶ。**
- 「オプション」ダイアログが表示されます。

2 **「ユーザー名」の入力欄に、設定中のパソコンに対するユーザー名を入力する。**
- ユーザー名は全角／半角英数字10文字以内で入力することができます。

3 **[OK]ボタンをクリックする。**
- ユーザー名が登録されます。

パソコンからの送信画像の画質を設定する

画質設定により、パソコンから送信する画像の画質を設定することができます。
「高画質」の設定ではより精細な画像を送ることができ、「標準」の設定ではより高速な通信をすることができます。

画質の設定をするには

1 **Wireless Connectionウィンドウで[ツール] - [オプション]を選ぶ。**
- 「オプション」ダイアログが表示されます。

2 **「画質」の項目で、希望の設定値の左側をチェックする。**

3 **[OK]ボタンをクリックする。**
- 画質の設定が登録されます。

手動接続の設定項目詳細

Web設定の「接続プロファイルの設定」ページに表示される本機側の手動接続の設定項目と、Wireless Connectionの「手動接続の設定」ダイアログに表示されるパソコン側の手動接続の設定項目は、すべて共通です。同じ設定項目に対する設定を双方で合わせることで、無線LAN接続を行うことができます。Wireless Connectionの「設定値の送信」機能（54ページ）を使えば、双方の設定を簡単に合わせることができます。

ここでは、手動接続の個別の設定項目の意味や、設定項目ごとの入力値（または選択肢）について説明します。

- 本機の手動接続設定を変更する操作手順は、「本機の手動接続設定を変更するには」（70ページ）を参照してください。
- 本機と無線LAN接続するパソコンの手動接続設定を新規作成（または変更）する操作手順は、「パソコンの接続プロファイルを新規作成するには」（71ページ）および「パソコンの既存の接続プロファイルを変更するには」（74ページ）を参照してください。

本機側の手動接続設定画面
（「接続プロファイルの設定」ページ）

パソコン側の手動接続設定画面
（Wireless Connectionの「手動接続の設定」ダイアログ）

メモ

表中の「解説」欄でアスタリスク（＊）が付いている選択肢は、初期設定を表しています。

設定項目名	解説
プロファイル名	個々の手動接続を識別するために付ける名前です。 全角／半角英数字10文字以内で入力します。
SSID	ワイヤレスネットワークの識別名です。一般にSSID、ESS-ID、またはネットワーク名と呼ばれています。半角英数字32文字以内で入力します。
アクセス方式	無線LAN接続をアクセスポイントを介して行うか、アクセスポイントを介さずに本機とパソコンの間で直接行うかを選ぶための設定項目です。 **アクセスポイントモード：** アクセスポイントを介して無線LAN接続を行います。 **アドホックモード＊：** 本機とパソコンの間で直接無線LAN接続を行います。
セキュリティ設定	無線LAN接続を行う際に通信を暗号化するかどうか、暗号化する場合はどの方式を使うかを選ぶための設定項目です。本機が対応している暗号化の方式には「WEP」、「WPA-PSK」、および「WPA2-PSK」の3種類があります。 **オフ＊：** 通信を暗号化しません。 **WEP：** WEP方式による通信の暗号化を行います。「WEP」を選択した場合は、「WEPキー形式」と「WEPキー」を併せて設定することが必要となります。 ※ WEP（Wired Equivalent Privacy）とは、「WEPキー」と呼ばれる文字列を使って通信内容を暗号化し、無線通信への不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能です。 **WPA-PSK：** WPA-PSK方式による通信の暗号化を行います。「WPA-PSK」を選択した場合は、「WPA／WPA2暗号形式」と「WPA／WPA2パスフレーズ」を併せて設定することが必要となります。 ※ WPA（Wi-Fi Protected Access）は、WEP同様に通信内容を暗号化するセキュリティ機能の一種です。暗号キーを自動的に生成して一定時間ごとに変える機能などを備えており、セキュリティの性能はWEPよりも格段に強力です。 **WPA2-PSK：** WPA2-PSK方式による通信の暗号化を行います。「WPA2-PSK」を選択した場合は、「WPA／WPA2暗号形式」と「WPA／WPA2パスフレーズ」を併せて設定することが必要となります。 ※ WPA2は、WPAの新規格です。 **メモ** 「アクセス方式」として「アドホックモード」を選択した場合は、WPA-PSKとWPA2-PSKは選択できません。
WEPキー形式	「セキュリティ設定」として「WEP」を選択した場合に限り、選択が必要な設定項目です。」 WEPキーとして入力する文字列の形式を、次の4通りの中から選びます。 **ASCII／64bit、ASCII／128bit、HEX／64bit、HEX／128bit＊** なおここで選択した形式に応じたWEPキーの入力については、設定項目名「WEPキー／WPA／WPA2パスフレーズ」の解説を参照してください。
WPA／WPA2暗号形式	「セキュリティ設定」として「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択した場合に限り、選択が必要な設定項目です。選択肢として「TKIP」と「AES」の2つがあります。 **TKIP＊：** WPA-PSK（またはWPA2-PSK）の暗号形式としてTKIPを選択します。 **AES：** WPA-PSK（またはWPA2-PSK）の暗号形式としてAESを選択します。

設定項目名	解説
WEPキー／WPA／WPA2パスフレーズ	この入力欄には、「セキュリティ設定」で選択した暗号化の方式に応じて、WEPキーまたはWPA／WPA2パスフレーズを入力します。 **● 「セキュリティ設定」として「WEP」を選択した場合** WEPキーを入力します。WEPキーとして入力する文字列は、「WEPキー形式」の選択状態に応じて次のようになります。 **「ASCII／64bit」を選択した場合：** 5文字の半角英数字（例：“MyKey”） **「ASCII／128bit」を選択した場合：** 13文字の半角英数字（例：“MyKey12345678”） **「HEX／64bit」を選択した場合：** 10桁の16進数（例：11AA22BB33） **「HEX／128bit」を選択した場合：** 26桁の16進数（例：00112233445566778899AABBCC） **● 「セキュリティ設定」として「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択した場合** WPA／WPA2パスフレーズ（暗号キー）を入力します。 接続先の無線LANアクセスポイント側で設定されている暗号キーと同じ文字列を入力してください。8文字以上63文字以下の半角英数字、または64桁の16進数が入力できます。
DHCP	無線LAN接続時に、本機（パソコン）に手動で設定したIPアドレスを使うか、あるいはDHCPサーバーによって本機（パソコン）に自動的に割り当てられるIPアドレスを使うかを選択します。 **オン*：** DHCPサーバーが本機（パソコン）に自動的に割り当てたIPアドレスを使用します。こちらを選択した場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の各設定項目に対しては入力する必要はありません。 **オフ：** 本機（パソコン）にIPアドレスを手動で設定します。こちらを選択した場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の各設定項目に対する入力が必要となります。
IPアドレス	「DHCP」で「オフ」を選択した場合に入力が必要な設定項目です。 本機（パソコン）に割り当てるIPアドレスを入力します。IPアドレスは、0～255の数字4つをピリオドで区切って、「192.168.10.3」のように入力します。
サブネットマスク	「DHCP」で「オフ」を選択した場合に入力が必要な設定項目です。本機（パソコン）が属するサブネットのIPアドレスの範囲を決めるための値（サブネットマスク）を入力します。サブネットマスクは、0～255の数字4つをピリオドで区切って、「255.255.255.0」のように入力します。
デフォルトゲートウェイ	「DHCP」で「オフ」を選択した場合に入力が必要な設定項目です。「アクセス方式」が「アクセスポイントモード」の場合、無線LANアクセスポイント側で設定されている値に合わせます。
チャンネル	「アクセス方式」として「アドホックモード」を選択した場合に限り設定可能な項目です。本機の周辺に、本機が無線LAN通信で使う周波数帯域（2.4GHz）と同じ周波数を使って無線LAN通信を行う機器が多い場合には、無線LANネットワークごとに異なるチャンネルを割り当てることで、通信のパフォーマンスが向上します。通常は「自動」（初期設定）を選択します。 **自動*：** 無線LAN通信を行う際に使う通信チャンネルを自動的に設定します。本機側の設定を「自動」にした場合は、パソコン側でも「自動」を選択します。 **1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11：** 指定したチャンネルを使って無線LAN通信を行います。無線LAN接続を行う本機とパソコンで、同じチャンネルを選択することが必要です。

本機のワイヤレス設定を初期化する

「ワイヤレス設定の初期化」を行うと、本機のワイヤレスに対するすべての設定情報を一括して初期状態に戻すことができます。初期化の操作によって、ワイヤレスの各設定は次のようになります。

設定項目	初期化後の設定値
接続キーワード(68ページ)	オフ(キーワードなし)
ユーザー名表示(87ページ)	オン
Web設定(63ページ)	有効

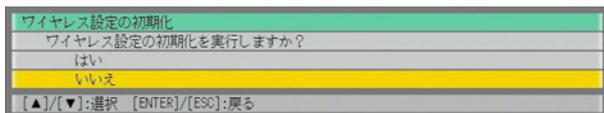
本機のワイヤレス設定を初期化するには

1 **ワイヤレスが投映画面に表示されているときに、本機のリモコンの[MENU]キーを押す。**

- **ワイヤレス**設定メニューが表示されます。

2 **[▼]キーを使って「ワイヤレス設定の初期化」を反転表示させる。**

3 **[ENTER]キーを押す。**

- 次のような確認ダイアログが表示されます。

4 **[▲]キーを押して「はい」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- ワイヤレスのすべての設定が初期化されます。

Wireless Connectionのヘルプを見る

Wireless Connectionのヘルプを見るには、Wireless Connectionウィンドウで[ヘルプ] - [ヘルプを開く]を選びます。

Wireless Connectionのバージョン情報を確認する

Wireless Connectionのバージョン情報を確認するには、Wireless Connectionウィンドウで[ヘルプ] - [バージョン情報]を選びます。

無線LAN接続のトラブルシューティング

本機とパソコンの無線LAN接続に関連した操作がうまくいかないときは、はじめに次のことをご確認ください。

パソコン側の確認事項

- パソコンのUSB端子にYW-2を<u>接続する前</u>に、既存の「ネットワーク接続」を無効にしましたか？
  [コントロールパネル]の[ネットワーク接続]（Windows 2000の場合は[ネットワークとダイヤルアップ接続]）をクリックし、表示されるウィンドウ内に「ローカルエリア接続」、「ワイヤレスネットワーク接続」または「ネットワークブリッジ」がある場合はそのアイコンを右クリックして、「無効にする」をクリックしてください。また、同じウィンドウ内に「ローカルエリア接続」がある場合、同様に無効にしておくことをお勧めします。
- 本機に付属している「Wireless Connection」以外の無線LANユーティリティが起動していませんか？
  起動している場合は、終了してください。

本機側の確認事項

- パソコン側と同じ接続プロファイルが選択されていますか？
  パソコン側が「手動接続1」、本機側が「簡単接続1」のように異なる接続プロファイルが選択されていると、無線LAN接続はできません。双方の接続プロファイルを合わせてください。

その他確認事項

- 本機とパソコンの間の距離が離れていたり、本機とパソコンの間に壁などの遮蔽物がありませんか？
  接続がうまくいかない場合は、本機とパソコンをなるべく近づけてください。
- 近くで電子レンジやBluetooth機器を使っていませんか？
  本機で採用している無線の規格「IEEE802.11b」は、これらの機器と同じ2.4GHzの帯域の電波を使用しているため、近くでこれらの機器が動作していると電波干渉を受け、無線通信のエラーの原因となることがあります。無線LAN接続を行う際は、電子レンジやBluetooth機器のご利用をお控えください。

これらを確認した後も問題が解決しない場合は、問題に応じて下記の対処をお試しください。

本機と1台(または複数台)のパソコンの「手動接続」ができない

IPアドレスの設定を除くすべての設定項目が本機とパソコンの間で一致していないと、手動接続はできません。次の操作で本機とパソコン双方の設定内容を表示し、確認を行ってください。もし同じ設定項目について設定内容の不一致がある場合は、一致するようにパソコン側の設定を変更してください。ただしIPアドレスの設定だけは一致させてはいけませんので、ご注意ください。

本機側の設定内容を確認するには

[FUNC]キーを押し、[接続情報の表示]が反転表示しているのを確認して[ENTER]キーを押します。

パソコン側の設定内容を確認するには

1. **Wireless Connectionウィンドウで[接続]－[接続プロファイルの切替]を選択する。**
2. **表示される「接続プロファイルの切替」ダイアログで「プロファイル名」欄の▼をクリックし、設定内容を確認したい接続プロファイルを選ぶ。**
3. **[設定変更]ボタンをクリックする。**
   - 「手動接続の設定」ダイアログが表示されます。このダイアログ上で、現在の設定内容を確認することができます。必要な場合は設定の変更も可能です。

ご注意

本機と複数のパソコンを無線LAN接続する場合、本機、および本機と接続するすべてのパソコンそれぞれに、異なるIPアドレスを設定することが必要です。たとえば本機のIPアドレスを192.168.1.100としたとき、本機と接続するパソコンのIPアドレスはそれぞれ192.168.1.10, 192.168.1.20, 192.168.1.30…のように、それぞれ異なる値を設定してください。

本機とパソコン間の無線LAN接続が確立し、パソコンのディスプレイ内容を投映できるようになるまでに時間がかかる

パソコン上で、YW-2が使用している「ワイヤレスネットワーク接続」以外の各種ネットワーク接続が有効になっていると、本機とパソコン間の無線LAN接続が確立するまでに時間がかかる場合があります。このような場合は、次の操作を行って、他のネットワーク接続をすべて無効にしてください。

1 **[コントロールパネル]の[ネットワーク接続](Windows 2000の場合は[ネットワークとダイヤルアップ接続])をクリックする。**

- 「ネットワーク接続」ウィンドウ(Windows2000の場合は「ネットワークとダイアルアップ接続」ウィンドウ)が表示されます。

2 **ウィンドウ内で、YW-2が使用している「ワイヤレスネットワーク接続」でない「ワイヤレスネットワーク接続」がある場合はそのアイコンを右クリックして、「無効にする」をクリックする。**

- YW-2が使用しているワイヤレスネットワーク接続には、「CASIO 802.11b/g Wireless LAN USB Adapter(3887A)」というアダプター名が表示されています。異なるアダプター名が表示されているワイヤレスネットワーク接続を無効にしてください。

3 **ウィンドウ内に「ローカルエリア接続」がある場合はそのアイコンを右クリックして、「無効にする」をクリックする。**

本機とパソコン間の無線LAN通信が途絶えることがある

次のような原因が考えられます。

- 本機とパソコンとの距離が離れている場合(いくつも部屋をまたいでいる場合や、1階と2階とで通信を行っている場合など)は、通信の速度が落ちたり途切れたりすることがあります。本機とパソコンとはなるべく近づけてください。
- 本機で採用している無線の規格「IEEE802.11b」は、電子レンジやBluetooth機器と同じ2.4GHzの帯域の電波を使用しているため、近くでこれらの機器が動作していると電波干渉を受け、無線通信のエラーの原因となることがあります。無線LAN接続を行う際は、電子レンジやBluetooth機器のご利用をお控えください。

通信が途絶えた場合は、パソコン上でWireless Connectionをいったん終了させ、起動し直してください。

Web設定ページを表示できない

Web設定ページは、本機とパソコンが無線LANで接続されているときに限り表示することができます。「簡単接続」または「手動接続」によって本機とパソコンを無線LAN接続してから、表示してください。詳しくは「Web設定について」(61ページ)を参照してください。

なお、本機とパソコンが無線LAN接続されているにもかかわらずWeb設定ページが表示されない場合は、次の点をご確認ください。

- 本機のWeb設定が無効になっていることが考えられます。「Web設定の有効・無効を切り替えるには」(63ページ)の操作を行い、「無効」になっている場合は「有効」に切り替えてください。
- お使いのブラウザでプロキシサーバーを使用するように設定されていることが考えられます。プロキシサーバーが設定されていると、Web設定ページが表示されない場合がありますので、設定を解除してください。プロキシサーバーの設定については、お使いのブラウザのヘルプ等をご覧ください。

Wireless Connectionのメニュー／ボタン一覧

Wireless Connectionのメニューコマンドと、Wireless Connectionウィンドウ上のボタンの機能の概略です。

これを実行するには：	このメニューを選ぶか：	このボタンをクリックする：
現在選択されている接続プロファイルを使って、パソコンと本機の無線LAN接続を開始する	[接続] - [接続する]	
パソコンと本機の無線LAN接続を切断する	[接続] - [接続を切断する]	
パソコンと本機の無線LAN接続に使用する、パソコン側の接続プロファイルを切り替える	[接続] - [接続プロファイルの切替]	–
パソコンと本機の無線LAN接続を切断し、Wireless Connectionを終了する	[接続] - [終了]	–
投映画面に表示するマウスカーソルの形を選ぶ（またはマウスカーソルの表示をオフにする）	[ツール] - [マウスカーソルエミュレーション]	
Wireless Connectionのオプション設定ダイアログを表示する（ユーザー名の設定・画質の設定またはWeb設定ページの表示を行う）	[ツール] - [オプション]	–
Web設定ページを表示する	[ツール] - [オプション] - [Web設定]	
投映画面に表示中のパソコンのディスプレイ内容を一時停止する	–	
投映画面にパソコンのディスプレイ内容を表示する	–	
接続を維持したままパソコンのディスプレイ内容の投映を一時中止する	–	
Wireless Connectionのヘルプを開く	[ヘルプ] - [ヘルプを開く]	–
Wireless Connectionのバージョン情報ダイアログを開く	[ヘルプ] - [バージョン情報]	–

無線LANを使って投映する

ここでは、本機とパソコンの間の無線LAN接続が済んだ後の各種操作について説明します。

この場合は：	ここを参照：
本機と1台のパソコンを無線LAN接続している場合	「本機と1台または複数のパソコンを無線LAN接続したときの共通操作」（下記）
本機と複数のパソコンを同時に無線LAN接続している場合	「本機と1台または複数のパソコンを無線LAN接続したときの共通操作」（下記）および「本機と複数のパソコンを無線LAN接続した場合の各種操作」（86ページ）

本機と1台または複数のパソコンを無線LAN接続したときの共通操作

投映画面にパソコンのディスプレイ内容を表示するには

パソコン上のWireless Connectionウィンドウで ボタンをクリックします。

- 簡単接続を使って接続した直後は、パソコンのディスプレイ内容は自動的に投映画面に表示されるので、 ボタンをクリックする必要はありません。

- パソコンのディスプレイ内容が本機に送信され、投映画面に表示されます。このとき、 ボタンの色が黒から緑色に変わります。

メモ

投映画面にパソコンのディスプレイ内容を表示しているとき、マウスカーソルはWireless Connectionの「マウスカーソルエミュレーション」機能の設定に従って表示されます。詳しくは「投映画面に擬似的にマウスカーソルを表示するには」（85ページ）を参照してください。

投映画面に表示中のパソコンのディスプレイ内容を一時停止するには

パソコン上のWireless Connectionウィンドウでボタンをクリックします。ボタンの色が黒から緑色に変わり、ボタンを押した時点のパソコンのディスプレイ内容が静止画として投映画面に表示された状態となります。

この状態を解除して通常のパソコンのディスプレイ内容表示に戻るには、ボタンをクリックします。

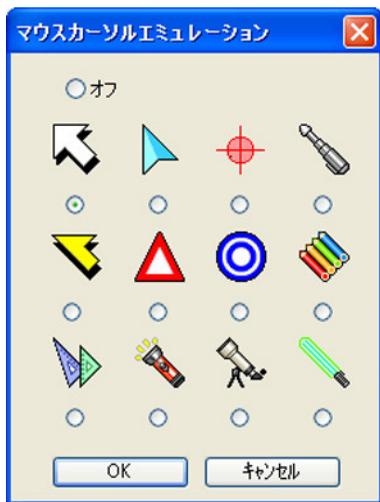
接続を維持したままパソコンのディスプレイ内容の投映を一時中止するには

パソコン上のWireless Connectionウィンドウでボタンをクリックします。ボタンの色が黒から緑色に変わり、投映画面全体が黒一色になります。

この状態を解除して通常のパソコンのディスプレイ内容表示に戻るには、ボタンをクリックします。

投映画面に擬似的にマウスカーソルを表示するには

1 **ボタンをクリックするか、[ツール] - [マウスカーソルエミュレーション]を選ぶ。**

● 「マウスカーソルエミュレーション」ダイアログが表示されます。

2 **ダイアログ上で投映画面に表示したいマウスカーソルを選び、[OK]ボタンをクリックする。**

● 選択したマウスカーソルが、投映画面に表示されます。マウスカーソルが表示される位置は、パソコンのディスプレイ上でのマウスカーソル位置に追随します。

メモ

● 「マウスカーソルエミュレーション」機能によって表示されるマウスカーソルは、パソコンのディスプレイに表示されるマウスカーソルそのものではありません。パソコンのディスプレイ上のマウスカーソル位置をWireless Connectionが検出し、擬似マウスカーソルを投映画面上に表示しています。

● 投映画面にマウスカーソルを表示したくない場合は、上記の手順2で「オフ」を選びます。

パソコンからの操作で、パソコンと本機の間の無線LAN接続を切断するには

パソコン上のWireless Connectionウィンドウでボタンをクリックするか、[接続] - [接続を切断する]を選択します。

パソコンと本機の間の無線LAN接続が切断され、投映画面に「接続待機中」メッセージが表示されます。

パソコンからの操作で、パソコンと本機の間の無線LAN接続を再開するには

パソコン上のWireless Connectionウィンドウでボタンをクリックするか、[接続] - [接続する]を選択します。

本機と複数のパソコンを無線LAN接続した場合の各種操作

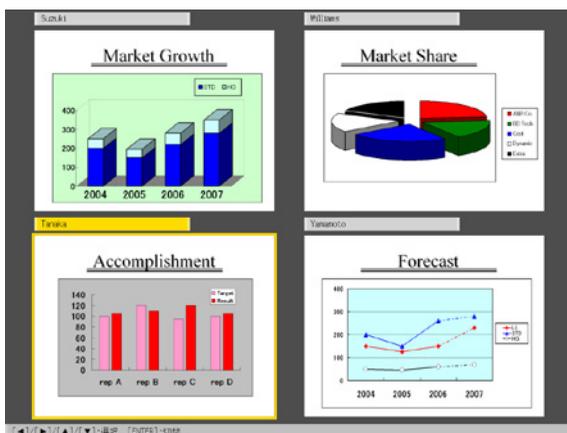
本機と複数のパソコンを同時に無線LAN接続している場合、投映画面に現在表示されているのがどのパソコンのディスプレイ内容なのかを確認したり、あるパソコンのディスプレイ内容から別のパソコンのディスプレイ内容に投映画面を切り替えたりする操作が必要となります。これらの操作は、本機のリモコンを使って行います。

投映画面に現在表示されているのがどのパソコンのディスプレイ内容なのかを確認するには

本機のリモコンの[△]キーを押します。投映画面の左上に投映元のパソコンのユーザー名が表示されます。

あるパソコンのディスプレイ内容から別のパソコンのディスプレイ内容に投映画面を切り替えるには

1 本機に無線LAN接続中のいずれか1台のパソコンのディスプレイ内容が投映画面全体に表示されているときに、本機のリモコンの[○]キーを押す。

- 次のようなユーザーリスト表示に切り替わり、本機に無線LAN接続中のすべてのパソコンのディスプレイ内容を縮小したイメージと、各パソコンのユーザー名が表示されます。

2 **本機のリモコンの[▼] [▲] [▶] [◀]キーを使って、投映画面全体に表示したいパソコンの縮小イメージとユーザー名にハイライト(縮小イメージの太枠囲いとユーザー名の反転表示)を移動し、選択する。**

3 **[ENTER]キー(または[○]キー)を押す。**

- 選択したパソコンのディスプレイ内容が、投映画面全体に表示されます。

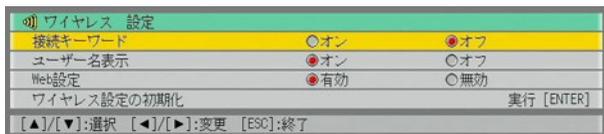
投映画面へのユーザー名表示のオン・オフを切り替えるには

メモ

あるパソコンのディスプレイ内容から別のパソコンのディスプレイ内容に投映画面を切り替えたときや、1台目のパソコンを本機に無線LAN接続したとき、初期設定では投映画面の左上にそのパソコンのユーザー名が表示されます。次の操作は、このユーザー名表示を行うか、行わないかを切り替えるためのものです。

1 **ワイヤレスが投映画面に表示されているときに、本機のリモコンの[MENU]キーを押す。**

- ワイヤレス設定メニューが表示されます。

ワイヤレス　設定		
接続キーワード	○オン	◉オフ
ユーザー名表示	◉オン	○オフ
Web設定	◉有効	○無効
ワイヤレス設定の初期化		実行［ENTER］
[▲]/[▼]:選択　[◀]/[▶]:変更　[ESC]:終了		

2 **[▼]キーを使って「ユーザー名表示」を反転表示させる。**

3 **[▶]または[◀]キーを使って、「オン」(ユーザー名表示を行う)または「オフ」(ユーザー名表示を行わない)のいずれかを選ぶ。**

4 **設定を終了してワイヤレス設定メニューを消すには、[ESC]キーを押す。**

ここでは本機とマルチPJカメラシステムYC-400（書画カメラ）を接続して、YC-400の書画台に置いた書類を本機に接続したプロジェクターから投映する操作について説明します。投映には、本機の内蔵アプリケーションの「YCカメラ」を使います。

重要

YC-400を本機に接続するには、YC-400のカメラのファームウェアのバージョンが、ver.1.1以上である必要があります。カメラのファームウェアのバージョンの確認方法およびバージョンアップの方法については、弊社のホームページ（http://casio.jp/support/projector/soft/camera2.html）をご覧ください。

YCカメラの機能概要と基本操作

「YCカメラ」は本機に接続されたYC-400を本機からコントロールするための、本機の内蔵アプリケーションです。YCカメラを使うことで、YC-400の書画台に載せた書類を、本機から投映することができます。YC-400を本機のUSB端子に接続し、YC-400の電源を入れると、自動的にYCカメラが起動します。

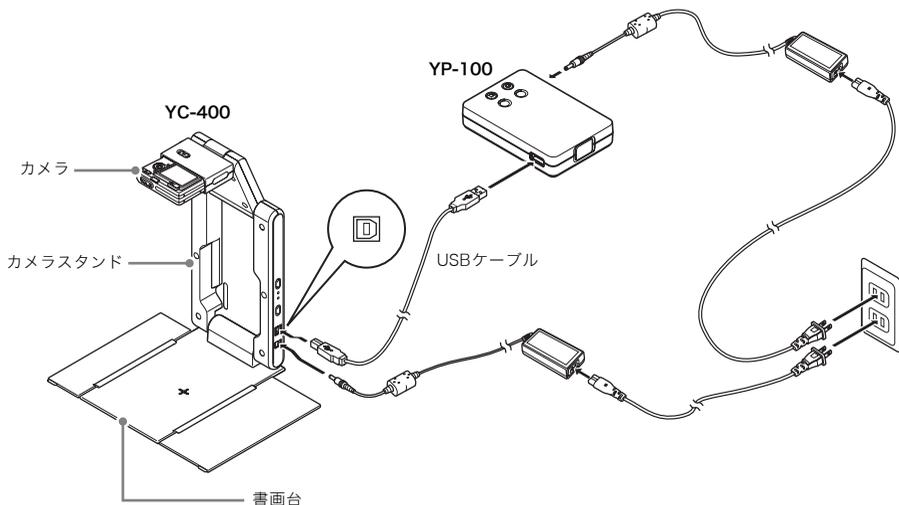
本機とYC-400を接続する

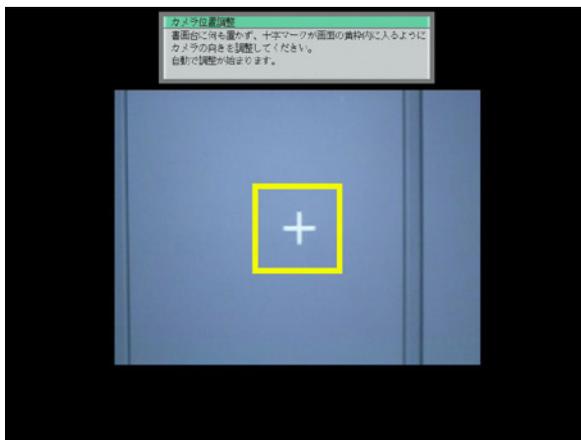
ここでは本機とYC-400を接続して、YC-400の書画台に載せた書類を本機から投映するまでの、もっとも基本的な操作手順を説明します。

本機とYC-400を接続して書類の投映を行うには

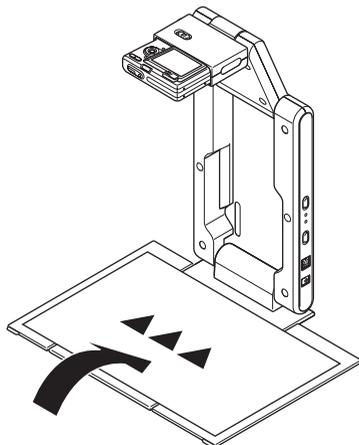
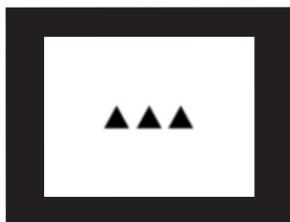
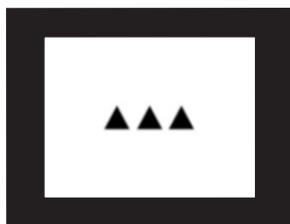
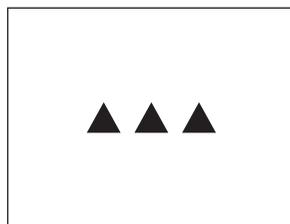
1 **付属のACアダプターを本機のACアダプター端子に接続し、ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続する。**

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 本機の[POWER]インジケーターが緑色に点灯し、接続されているプロジェクターから本機のロゴ画面が投映されます。

2 YC-400と本機を、YC-400に付属のUSBケーブルで接続する。

3 書画台に何も置いていない状態で、YC-400のカメラスタンドの[⏻](電源)ボタンを押す。

- YC-400の電源が入り、レンズが繰り出します。
- このとき本機がYC-400を認識し、自動的にYCカメラが起動します。YCカメラが起動すると、投映画面に書画台の映像と、「カメラ位置調整ダイアログ」が表示されます。

- カメラの向きが正しければ、カメラ位置調整が自動的に完了してダイアログが閉じ、モニター表示状態(カメラからの映像がそのまま投映画面に表示される状態)となります。
- カメラの向きが正しくない場合は、カメラの向きを調整するように促すメッセージが表示されますので、メッセージに従ってカメラの向きを調整してください。

4 書画台に、投映したい書類を置く。

- 原稿は、必ず書画台の中央に置き、書画台からはみださないようにしてください。
- 横長の書類の場合、書類の上部がカメラスタンドのアーム側になるように置きます。
- 書類を置いた時点ではモニター表示状態のままなので、やや粗い画像（モニター画像）が表示されています。

- 書画台に置かれた書類が静止したのをカメラが認識すると、自動的にカメラによる撮影が行われ、投映画面の表示がモニター画像から高解像度の「撮影画像」に切り替わります。

5 書画台の書類を、別の書類と差し替える。

- 自動的に差し替えた書類の「撮影画像」の投映に切り替わります。

手順5の動作は、本機のYCカメラの初期設定時の動作です。YCカメラの「動作設定」を「手動撮影」に切り替えた場合は、差替えた書類の「撮影画像」に自動的には切り替わりません。詳しくは「YCカメラ設定メニュー項目の内容詳細」（96ページ）を参照してください。

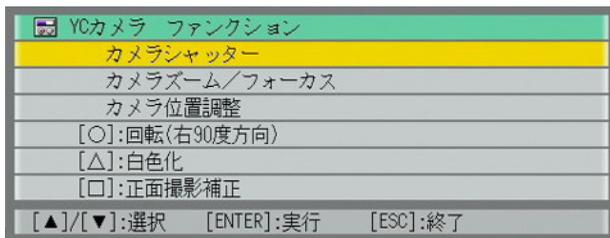
YCカメラの各種操作

ここではYCカメラを使った各種の投映操作と、YCカメラの設定操作について説明します。

重要

ここで説明する各種操作は「本機とYC-400を接続する」(88ページ)の操作を行い、本機とYC-400が正しく接続されており、本機のYCカメラが起動していることが前提となります。

YCカメラを使った各種の投映操作

ここで説明する操作は、[FUNC]キーを押すと表示される「YCカメラファンクションメニュー」を使って行います。

一部の操作は、本機のリモコンの[○]、[△]、および[□]キーを使って行うこともできます。

手動でカメラのシャッターを切るには

1 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

- このとき、「カメラシャッター」が反転表示されています。

2 **カメラのシャッターを切るには、[ENTER]キーを押す。**

- YC-400のカメラによる撮影が行われ、撮影画像が投映されます。

メモ

モニター画像または撮影画像の表示中は、[FUNC]キーを押さなくても[ENTER]キーを押すだけで、手動でシャッターを切ることができます。

カメラのズームを調節するには

1 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

2 **[▼]キーを使って「カメラズーム/フォーカス」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 投映画面に「YCカメラ　ズーム/フォーカス」ダイアログが表示されます。このとき、「ズーム」が反転表示されています。

3 **[▶]または[◀]キーを使って、カメラのズーム倍率を調節する。**

4 **調節が済んだら、[ESC]キーを押す。**

- 「YCカメラ　ズーム/フォーカス」ダイアログが閉じます。

カメラのフォーカスを手動で調整するには

1 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

2 **[▼]キーを使って「カメラズーム/フォーカス」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 投映画面に「YCカメラ　ズーム/フォーカス」ダイアログが表示されます。

3 **[▼]キーを押して「フォーカス」を反転表示させる。**

4 **[▶]または[◀]キーを使って、カメラのフォーカスを調整する。**

5 **調整が済んだら、[ESC]キーを押す。**

- 「YCカメラ　ズーム/フォーカス」ダイアログが閉じます。

カメラの位置を調整するには

1 **書画台に書類がある場合は取り除く。**

2 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

3 **[▼]キーを使って「カメラ位置調整」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 「カメラ位置調整ダイアログ」が表示されます。

4 **カメラを下に向けて、カメラのレンズが書画台の方向に向くように合わせる。**

- 投映画面に表示されるメッセージに従って、カメラの向きを調整してください。

- カメラの向きが正しければ、カメラ位置調整が完了してダイアログが閉じ、モニター表示状態（カメラからの映像がそのまま投映画面に表示される状態）に移行します。

投映中の撮影画像を回転するには

メモ

この操作は、現在投映中の撮影画像に対してのみ有効です。次にシャッターを切ったときの撮影画像に対しては、適用されません。次にシャッターを切ったときの撮影画像は「YCカメラ設定メニューを使う」（95ページ）の設定情報に従って投映されます。

1 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

2 **[▼]キーを使って「○：回転（右90度方向）」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 投映画面に表示中の撮影画像が右方向に90度回転表示されます。
- 手順1、2の操作を行う代わりに、[○]キーを押して撮影画像を回転することも可能です。

投映中の撮影画像に対して「白色化」処理を施すには

メモ

- 撮影画像に対して「白色化」処理を実施すると、撮影画像の下地の色（例えばクリーム色の紙に黒の文字が印刷されている書類を撮影した画像の、クリーム色の部分）を白色にして、書類上の文字を読みやすくすることができます。
- この操作は、現在投映中の撮影画像に対してのみ有効です。次にシャッターを切ったときの撮影画像に対しては、適用されません。次にシャッターを切ったときの撮影画像は「YCカメラ設定メニューを使う」（95ページ）の設定情報に従って投映されます。

ご注意

白色化の処理は、正面撮影補正された撮影画像に対してのみ実行することができます。正面撮影補正については、「投映中の撮影画像に対して「正面撮影補正」処理を施すには」（94ページ）のメモを参照してください。

1 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

2 **[▼]キーを使って「△：白色化」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 投映画面に表示中の撮影画像に対して、白色化の処理が実施されます。
- 手順1、2の操作を行う代わりに、[△]キーを押して撮影画像に対して白色化を施すことも可能です。

投映中の撮影画像に対して「正面撮影補正」処理を施すには

メモ

- 書画台に傾いた状態で置かれた書類をカメラが撮影したときに、撮影された画像を正しい向きに補正して投映するのが「正面撮影補正」処理です。YCカメラの初期設定ではこの「正面撮影補正」が自動的に行われるように設定されていますが、正面撮影補正を行わないように設定してある場合に手動で正面撮影補正を行いたい場合は、下記の操作を行います。
- この操作は、現在投映中の撮影画像に対してのみ有効です。次にシャッターを切ったときの撮影画像に対しては、適用されません。次にシャッターを切ったときの撮影画像は「YCカメラ設定メニューを使う」（95ページ）の設定情報に従って投映されます。

1 **[FUNC]キーを押して、YCカメラファンクションメニューを表示する。**

2 **[▼]キーを使って「□：正面撮影補正」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 投映画面に表示中の撮影画像に対して、正面撮影補正の処理が実施されます。
- 手順1、2の操作を行う代わりに、[□]キーを押して撮影画像に対して正面撮影補正を施すことも可能です。

YCカメラ設定メニューを使う

YCカメラ設定メニューを使うと、さまざまなYCカメラの動作設定を行うことができます。

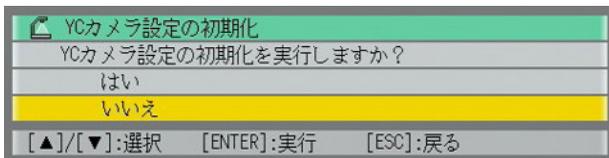
YCカメラ設定メニューを使って設定を行うには

1. **[MENU]キーを押す。**
2. **[▼]または[▲]キーを押して、設定を変更したい項目を反転表示させる。**
3. **[◀]または[▶]キーを押して、希望する選択肢に●印が付いた状態にする。**
4. **設定を変更したいすべての項目について、手順2と3の操作を行う。**
5. **YCカメラ設定メニューの操作を終了するには、[ESC]キーを押す。**

メモ

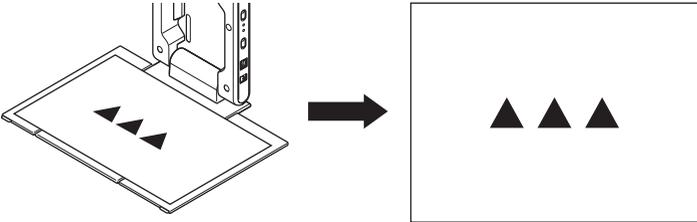
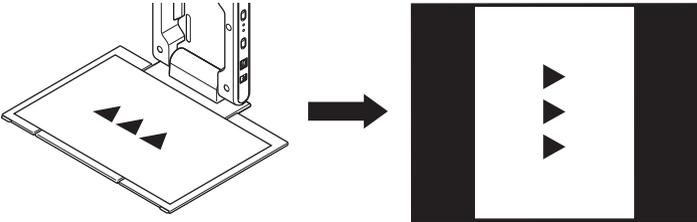
「白色化設定」と「正面撮影補正」に対する変更は、設定メニューを閉じた後でYC-400のカメラが撮影した時点から有効となります。その他の各項目に対する変更は、設定メニューが閉じた時点から有効となります。

YCカメラ設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化するには

1. **[MENU]キーを押す。**
2. **[▼]キーを押して「YCカメラ設定の初期化」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**
   - 次のような確認ダイアログが表示されます。

3. **[▲]キーを押して「はい」を選ぶ。**
4. **初期化を実行するには[ENTER]キーを押す。**
   - YCカメラ設定メニューに含まれる全項目の設定が初期化されます。
   - 初期化の実行をやめるには、[ENTER]キーを押さずに[ESC]キーを押します。
5. **YCカメラ設定メニューの操作を終了するには、[ESC]キーを押す。**

YCカメラ設定メニュー項目の内容詳細

YCカメラ設定メニューに含まれる各項目の内容を説明します。表中の「解説」欄でアスタリスク(＊)が付いている選択肢は、初期設定を表しています。

設定項目名	解説
動作設定	書画台に置かれた書類の撮影を自動的に行うか、自動的には行わないかを設定します。 **自動撮影＊：** 書画台の書類を差し替えるたびに、書画台に載せた書類の投映が自動的に行われます。 **手動撮影：** 書画台に載せた書類の投映を行いたいときに、手動で撮影（シャッター）の操作を行います。
モニター表示方向	モニター表示の向きを切り替えます。 **横置き＊：** カメラスタンドの向きを書類の上方向とする横置きの状態で、書画台の書類を投映します。 **縦置き：** カメラのファインダー側を書類の下方向とする縦置きの状態で、書画台の書類を投映します。
白色化設定	撮影画像に対して白色化の処理を行うか、行わないかを設定します。 **しない＊：** 白色化の処理を実行しません。 **する：** 白色化の処理を自動的に実行します。 **オート：** 白色化の処理を実行するかしないかを、撮影画像に応じて自動的に判別します。 **ご注意** 正面撮影補正の設定が「しない」になっている場合は、白色化の処理は実行されません。

設定項目名	解説
正面撮影補正	撮影画像に対して正面撮影補正の処理を行うか、行わないかを設定します。 **する＊:** 　正面撮影補正の処理を行います。 **しない:** 　正面撮影補正の処理を行いません。
書画モニター画像投映	書画台から書類を取り除いたときに、投映画面にモニター画像（カメラからのモニター映像）を表示するか、しないかを設定します。 **する＊:** 　モニター画像を表示します。 **しない:** 　モニター画像を表示しません。
YCカメラ設定の初期化	YCカメラ設定メニュー内のすべての項目の設定を、初期状態に戻します。本項目の操作手順については、「YCカメラ設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化するには」（95ページ）を参照してください。

言語設定の変更

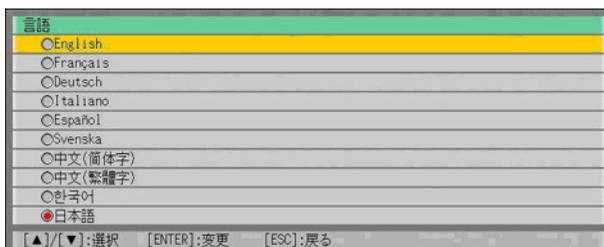
ご購入後はじめて本機の電源を入れたときに選択した言語設定を変更することができます。

言語設定を変更するには

1 **本機のUSB端子に何も接続していないときに、[MENU]キーをす。**

- 次のような設定メニューが表示され、「言語」が反転表示した状態になります。

2 **[ENTER]キーを押す。**

- 次のような言語選択ダイアログが表示されます。

3 **[▼]または[▲]キーを押して選択したい言語を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- [ENTER]キーを押すと同時に、反転表示させていた言語に切り替わります。

4 **設定メニューの操作を終了するには、[ESC]キーを2回押す。**

設定メニューの全初期化

ビューアー設定メニュー(39ページ)、ワイヤレス設定メニュー(79ページ)、およびYCカメラ設定メニュー(95ページ)に含まれる全項目の設定を、一括して初期化することができます。

設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化するには

1 **本機のUSB端子に何も接続していないときに、[MENU]キーをす。**

- 次のような設定メニューが表示されます。

2 **[▼]キーを押して「全初期化」を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 次のような確認ダイアログが表示されます。

3 **[▲]キーを押して「はい」を選ぶ。**

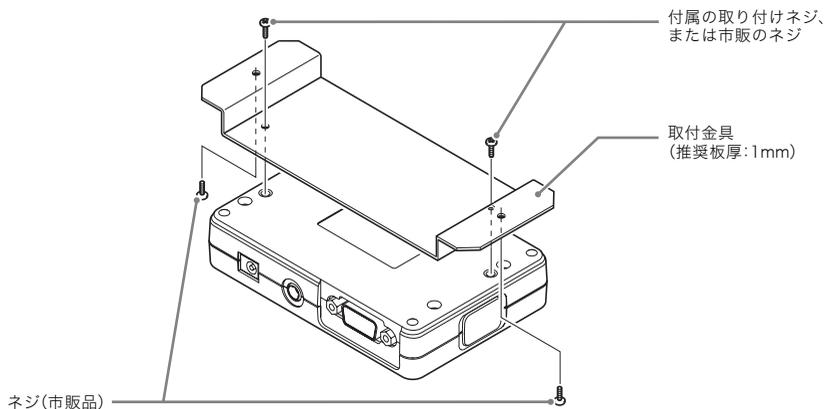
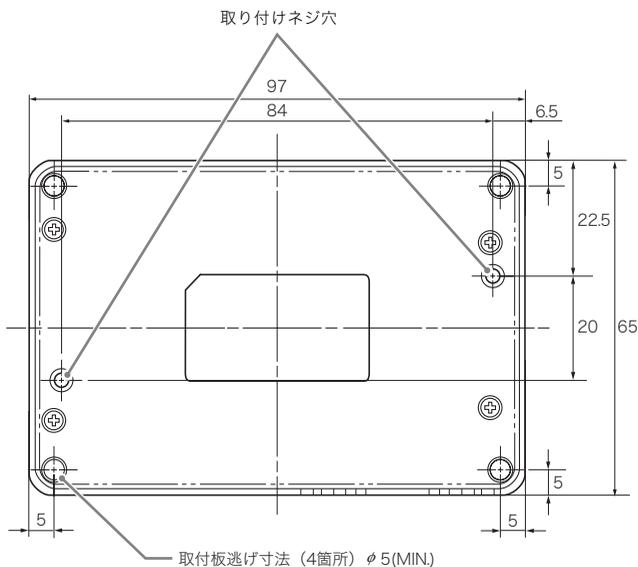
4 **初期化を実行するには[ENTER]キーを押す。**

- すべての設定が初期化されます。
- 初期化の実行をやめるには、[ENTER]キーを押さずに[ESC]キーを押します。

5 **設定メニューの操作を終了するには、[ESC]キーを押す。**

本機の天井への設置について

天井に設置されたプロジェクターに本機を接続してご使用になる場合のために、本機は天井などへの取り付けが可能な設計となっています。

- 本機を天井に取り付けるには、下図のような取付金具を別途ご用意ください。
- 取付金具を本機に取り付けるときは、本機に付属の取り付けネジをご使用ください。
- 市販のネジをご使用の場合は以下のネジを使用してください。
  ネジのタイプ:M3
  ネジの長さは金具の厚さに合わせてください。本機に入り込むネジ先の最大長さは2.5mmです。

各部の寸法(単位:mm)

ご注意

- 不適切な取り付けに起因する損傷は保証の対象外となります。
- 設置およびメンテナンスは、必ず工事専門業者にご依頼ください。
- 取付金具を本機に取り付けるときは、ネジが緩まないように注意してください。
- 詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。